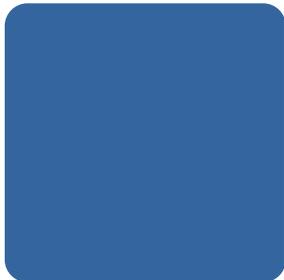




CSR Report



2020



目次

目次	1
編集方針 / グループ概要	2
グループビジョン	3
CSR理念・CSR基本方針	4
ハピネットグループの事業概要	5
トップメッセージ	7
ハピネットグループのCSRとは	8

特集

1. ハピネットブランドの魅力を より多くの方へ配信	11
2. 障がい者の特性を生かした、 働きがいのある職場づくり	14
3. 50周年記念を契機とし、 会社の魅力を社内外へ発信	18

ヒューマンレポート	20
1. セールス (アミューズメント)	22
2. セールス (映像・音楽)	25
3. 企画・制作 (映像・音楽)	29
4. スタッフ (ECサイト)	33
5. スタッフ (総務)	36

CSR マネジメント	39
CSR推進体制	40
コーポレート・ガバナンス	44
コンプライアンス	46
リスクマネジメント	48

環境とのかかわり	50
----------------	----

顧客とのかかわり	52
----------------	----

社員とのかかわり	56
----------------	----

社会とのかかわり	63
----------------	----

株主とのかかわり	65
----------------	----

環境データ集	67
--------------	----



編集方針

本 CSRレポートは、ハピネットグループのCSRに対する取り組みをご理解いただくことを目的として、分かりやすく報告することをめざしています。

今後、ハピネットグループがより良い社会の実現に貢献していくために、このレポートを重要なコミュニケーションの一助としてお読みいただけたら幸いです。また、弊社ではCSRレポートの冊子を廃止し、Webのみの報告としました。一括してお読みになりたい方のために、当サイトの情報をこのようなPDF形式にまとめております。

報告書の対象期間

2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)の活動実績について記載しています。

※従いまして、登場する社員の所属部署名につきましても2019年度所属の名称としています。

報告書の対象範囲

グループ会社における連結対象企業を対象範囲としています。

対象読者

お客さま・社員・株主さまをはじめとするステークホルダーを対象読者と推定しています。

参照したガイドライン

GRIスタンダード
環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」

発行年月

2020年8月(前回:2019年9月)

問い合わせ先

株式会社ハピネット 経営企画室 経営企画部 広報チーム
〒111-0043 東京都台東区駒形二丁目4番5号駒形 CAビル
TEL: 03-3847-0410 FAX: 03-3847-0420
URL: <https://www.happinet.co.jp/>

グループ概要

会社名 株式会社ハピネット

本社所在地 〒111-0043
東京都台東区
駒形二丁目4番5号
駒形CAビル

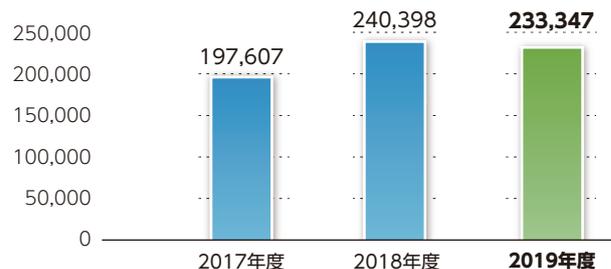


URL <https://www.happinet.co.jp/>

主要子会社 株式会社ハピネット・マーケティング
株式会社イリサワ
株式会社ハピネット・メディアマーケティング
株式会社マックスゲームズ
株式会社ハピネット・ベンディングサービス
株式会社ハピネット・ロジスティクスサービス

従業員数 連結1,007名
単体426名

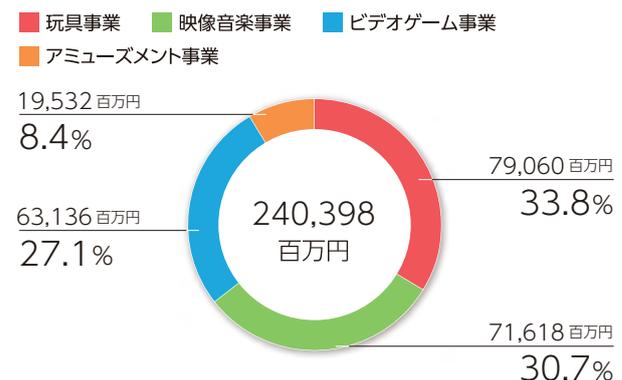
売上高推移(百万円)



経常利益推移(百万円)



事業別売上高構成比(2019年度)



グループビジョン

時代を先取りし、積極的に進化する企業となり、
お取引先さまをはじめあらゆる関係者の方々に貢献していきます。
そのために、ハピネットグループの存在意義と、
目指すべき未来像を「グループビジョン」として明文化しました。

グループビジョン

私たちはハピネス・ネットワーキングを展開し、
エンタテインメント・スタイルの創造により
人々に感動を提供し、夢のある明日をつくります。

経営姿勢

常に変化を先取りして自己革新をすすめ、
新しいビジネスをきりひらきます。

- 顧客への姿勢

パートナーシップをもって連帯し、
生活者に満足を提供します。

- 社員への姿勢

一人ひとりを尊重し、成長と挑戦の機会をつくり、
働きがいのある環境を育てます。

- 社会への姿勢

ビジネス倫理に基づく企業活動を通じて、
明るく楽しい社会の実現に貢献します。

- 株主への姿勢

積極的なディスクローズにより、経営の透明性を高め、
株主の信頼と期待を得る活動につとめます。

行動指針

常に
「何が大切か、何が正しいか」
を考え、
行動します。

ハピネットグループは、人々の幸福な人生 (Happiness) の実現に貢献すべく、グループをとりまくあらゆる関係者との間で積極的にコミュニケーションを図り (Networking)、エンタテインメント事業を通じてより豊かなライフスタイルを実現するための付加価値を創造していきます。

人々の心に感動を与え、夢のある明日という社会的価値を生み出せる企業グループ。それが私たちの存在意義だと考えています。

CSR理念・CSR基本方針

CSR理念

ハピネットグループがめざすCSRにおいて最も大きな道標となるのは、グループビジョンです。グループビジョンでは「ハピネス・ネットワーキング」という言葉の中に、人々の幸福な人生の実現に貢献すべくあらゆる関係者との間で積極的にコミュニケーションを図るという意味を込めており、エンタテインメント事業を通してより豊かなライフスタイルを実現するための付加価値を創造することを事業コンセプトとして掲げています。企業活動を通して「人々の心に感動を与え、夢のある明日をつくる」という思いを社員一人ひとりが常に意識し、実践していくことが、CSR理念の基本的な考え方です。

CSR基本方針

ハピネットグループの「CSR基本方針」では、ステークホルダーとの双方向の対話を重視しています。なお、「CSR基本方針」は「経営姿勢」がベースとなっています。

ハピネットグループは2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」で採択されたSDGs※に賛同し、企業活動を通じ、目標の達成にむけ最善を尽くしてまいります。



環境とのコミュニケーション

最適流通システムを基盤としたマーケティングシステムの強化をすすめ、適正な需要予測・適正在庫の推進・適正な業務執行を徹底することで、貴重な資源を無駄にしない体制を構築します。



社員とのコミュニケーション

社員一人ひとりを自立した個人として尊重し、教育を通して自主的かつ積極的なチャレンジを支援します。

社員が誇れる会社を目指し、働き甲斐のある職場環境をつくります。



株主とのコミュニケーション

積極的な情報開示をタイムリーに行い、経営の透明性を高めます。



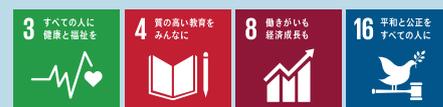
顧客とのコミュニケーション

お取引先さまとのパートナーシップに基づき、互いの機能と責任を果たし、生活者に対して満足と幸福を提供します。



社会とのコミュニケーション

企業の存続に必要な不可欠な社会の持続的発展に対して必要なコストを払い、未来に対する投資として必要な活動を行います。また、常に「何が正しいか」を考え、自らを律していきます。



※ SDGs: Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略。2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」で、150超の加盟国首脳によって採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に盛り込まれた17の目標と169のターゲットから構成。各国が2030年までに貧困や飢餓の撲滅、エネルギーや気候変動問題への対応、平和的社会的追求など、持続可能な開発のための諸目標の達成をめざす。

玩具事業



玩具事業は、ハピネットグループの中核を成す重要なビジネスです。業界最大手の中間流通業として、(株)バンダイをはじめとしたあらゆるメーカーさまの幅広い商品を共有し、確固たるシステムと提案力を強みとして、メーカーさまや販売店さまの多様なニーズにお応えしています。

さらに物流の高度化・効率化を推し進めるとともに、新たなチャネルの開拓も積極的に行っています。また、当社のオリジナル・独占販売商品の企画・開発を行っています。

映像音楽事業



映像音楽事業は、DVD、CD市場に商品を共有し、中間流通業として業界でもトップクラスのDVD、CDソフトの取り扱いタイトル数を誇っています。

また、映画・アニメなどの自社コンテンツ製作や独占販売権の獲得に取り組んでいます。

ビデオゲーム事業



ビデオゲーム事業は、中間流通業として唯一、国内で販売されているすべての家庭用ゲーム機の取り扱いを実現しています。このオールプラットフォームの取り扱いと売場提案力を強みとして、ビジネスの拡大を推進しています。

また、オリジナル商品の企画・開発、ゲームソフトの開発にも取り組んでいます。

アミューズメント事業



アミューズメント事業は、カプセル玩具販売機やデータカードゲーム機のオペレーションを行っています。業界トップの地位を生かし、お取引先さまとのより強固な関係の構築や、数多くのメーカーさまとの取引拡大による市場に密着したサービスを提供しています。

トップメッセージ

全役員・社員のチャレンジ精神を結集し、
夢のある明日づくりに貢献し続けます。

代表取締役社長兼最高執行責任者 榎本 誠一



ハピネットのグループビジョン とCSR理念

ハピネットグループは、「ハピネス・ネットワーキングを展開し、エンタテインメントスタイルの創造により、人々に感動を提供し、夢のある明日をつくります。」というグループビジョンのもと、事業を展開してきました。

グループビジョンには、人々に感動を提供するエンタテインメント事業を通じて、人々の心を豊かにし、夢のある明日づくりという社会的価値を生み出せる企業グループとして、存在価値を発揮していきたいという思いが込められています。グループビジョンを実践していくことが、ハピネットのCSR理念の基本的な考え方です。

この中にある「ハピネス・ネットワーキング」とは、人々の幸福な人生

(Happiness)の実現に大きく貢献できるタイムリーで付加価値のある提案をするために、ステークホルダーの皆さまと絶えず積極的にコミュニケーションを図ること (Networking) を基本姿勢として表したものです。

近年、私たちを取り巻く環境は日々めまぐるしく変化し、厳しい市場環境が続くエンタテインメント業界におきまして、柔軟性と機動性を兼ね備えた経営力をこれまで以上に発揮していくことが急務だと感じております。そのため、より一層コーポレートガバナンスの強化をはかるとともに、役員・社員一人ひとりがハピネットのCSRの基本姿勢に立ち返り、自らの役割、当社の果たすべき責任を問い直し、チャレンジ精神を結集して新たな成長ステージの創出に挑戦してまいります。

ハピネットグループのCSRとは

「事業活動」を通じて“社会の要請”に応えながら、多様なステークホルダーの期待に応えるために戦略的・長期的視点で“新たな価値”を創造する。それが、ハピネットグループのCSRです。

1 中間流通業として

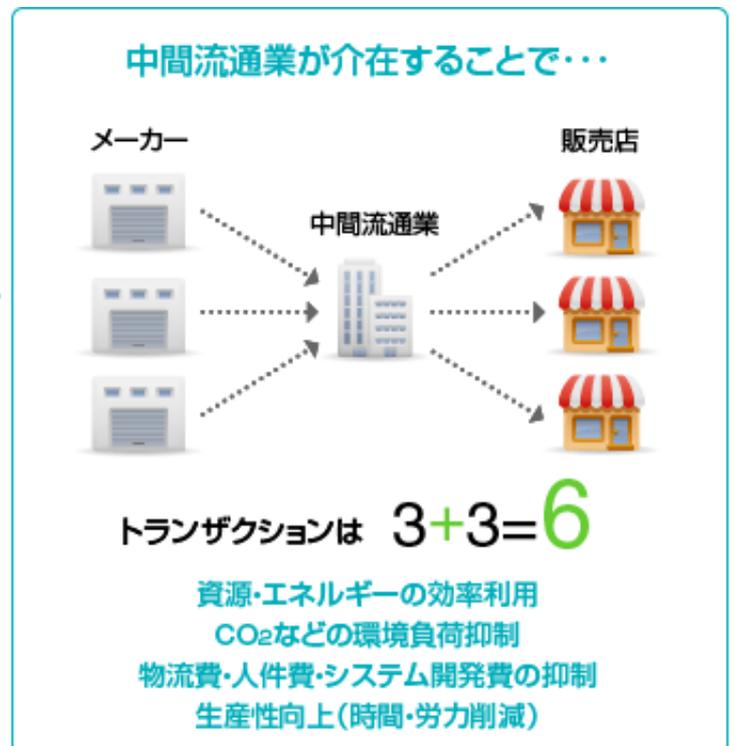
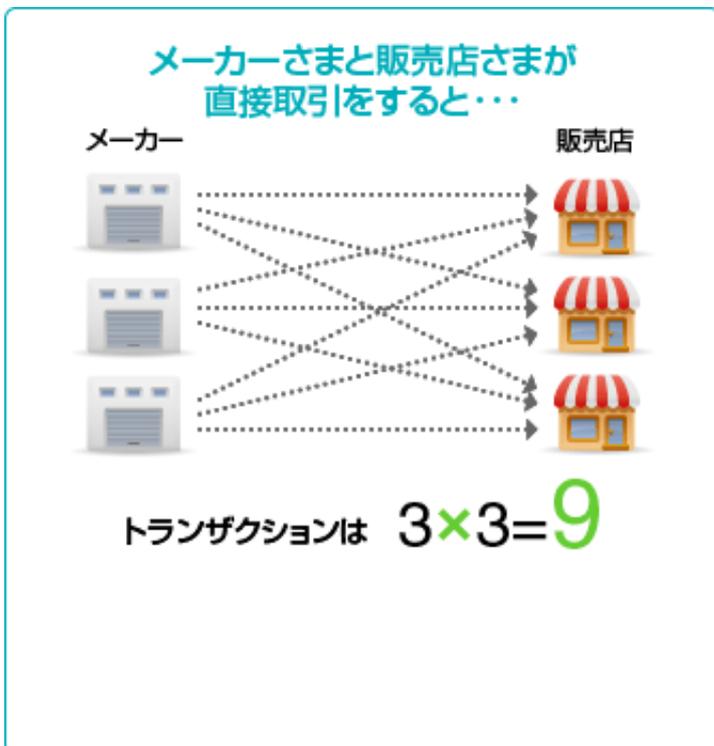
メーカーさまと販売店さまの間に立つ“中間流通業”としての機能を発揮して商品流通に伴う“社会的エネルギー・コストの抑制、効率化”に貢献していきます。

ハピネットグループは、メーカーさまと販売店さまの間に立つ“中間流通業”として、玩具や音楽・映像メディア、ゲームソフト、カプセル玩具などの商品をさまざまなメーカーさまから仕入れ、全国の販売店さま、消費者の皆さまにお届けしています。

そして、流通全体を最適化するための付加価値を提供して“社会的エネルギー※・コストの抑制、効率化”、さらには“サプライチェーン（流通）全体の生産性向上”に貢献することをめざしています。以下の図をご覧ください。

※ 社会的エネルギー：ハピネットグループが事業活動を行う上で使用する電気、ガス、ガソリンなどのさまざまなエネルギー

中間流通業の役割（機能）



メーカーさまと販売店さまが直接取引をすると、商品流通に伴うトランザクション——ある目的のためにモノを運んだり、情報を届けたりする活動の単位——は中間流通業の役割（機能）左図のとおり「9」となります。ところが、中間流通業の役割（機能）右図のように、中間流通業としてのハピネットグループが商品を一括して集約・配送し、情報を収集・発信すると、トランザクションは「6」で済み、トランザクションが減った分、物流・情報処理などに必要なエネルギーや労力、コストを削減でき、またCO₂の排出量なども削減することができます。この効果は、メーカーさまの数、販売店さまの数、取り扱いアイテム数が多くなるほど増大します。

Happinet



ハピネットグループは、
このように本業を通じて“社会の要請”に応えるとともに
戦略的・長期的視点で活動することにより、
事業に関わるさまざまなステークホルダーの期待に応えていきます。



2 | 最適流通システムの構築を通じて

メーカーさま・販売店さまのご要望に“最適な答え(SOLUTION)を提供しながら
多くのステークホルダーの皆さまにとっても価値ある「最適流通システム」を構築していきます。

多くのモノと情報をタイムリーに提供し、サプライチェーン（流通）全体を最適化するという中間流通業の社会的使命を果たしていくために、ハピネットグループは、「販売支援システム」「物流システム」「情報システム」という3つのシステムを事業基盤と位置付け、個々の機能を磨き続けています。

また、3つのシステム（機能）を融合（統合）して、メーカーさまや販売店さまが求める「モノ」と「情報」を市場の変化に合わせて最適化して提供する「最適流通システム」を構築。このシステムを活用することで、メーカーさまや販売店さまの市場環境や需給状況に応じた製品の生産・販売活動を支援することができます。さらに、流通経路全体の効率が一層向上するため、社会的エネルギー・コストの抑制の効果もより高まります。



最適流通システムは「販売支援システム」「物流システム」「情報システム」の3つの機能の掛け算が成果であり、どれか一つでも「0」になると成果も「0」となるという理念のもとに構築されています。

ハピネットグループは、これからも本業の強化を通じてCSR（企業の社会的責任）を果たしていくことで、多くのお取引先さま、社員、そして社会とともに持続的に成長する“ハピネス・ネットワーキング”の輪を一層拡大し、「人々に感動を提供し、夢のある明日をつくる」というビジョンを実現していきます。

特集 1 ハピネットブランドの魅力をより多くの方へ発信



ハピネットグループは、「東京ゲームショウ」「全国エンタメまつり」といったイベントへの出展などを通じて、国内外のより多くの方に自社オリジナルゲームソフトや取扱商材を知っていただき、楽しんでいただくためのプロモーションの強化に努めています。

ハピネットグループの強みを発揮した、大規模イベント出展におけるプロモーション活動

ハピネットグループは、自社オリジナルゲームソフトや取扱商品のプロモーション強化に取り組んでいます。これまで、店頭体験会など小規模人数への告知が主体でしたが、より多くのお客さまへ商品を訴求するため、2019年度は大型ゲームイベントへの出展などを通じた大々的なプロモーション活動を行いました。

8月には、岐阜県岐阜市にて開催される町おこしゲームイベント「全国エンタメまつり」に参加。アーケード街に設けられた物販コーナーにおいて、レトロゲーム体験会や関連グッズの販売を実施しました。また、ハピネット・ベンディングサービスと連携し、カプセル玩具自動販売機をハピネットブース内に多数設置し、大勢の来場者にご好評いただきました。

9月の「東京ゲームショウ」では、会場内でもひととき目立つ大きなブースの展示を実現。商品ジャンルの多様性で当社グループの強みが発揮された展示となりました。

展示の様子は多くのメディアで取り上げられ、また、イベントを通じて多くの海外パブリッシャーやメディア関係者の方々と交流する機会も得られました。ハピネットグループは今後も、新たなイベント出展にチャレンジしながらノウハウを蓄積し、効果的なプロモーションとハピネットグループの認知度向上に取り組んでまいります。



会場の幕張メッセでもひととき目を惹くハビネットの展示ブース



展示ブースの一角では、『ブリガンダインルーナジア戦記』のゲームクリエイターを招いたトークイベントも開催



目当てのカプセル玩具を求めて、大勢の来場者が賑わう



一部商品は即完売と、レトロゲーム体験会・グッズ販売は好調

担当者の声

(株) ハピネット ゲームパブリッシング部 運用・宣伝チーム 栗林 孝史

イベント出展を弾みに、企業認知を高め、海外展開を強化していく

私はプロモーションとオペレーションを担当するチームのマネージャーをしており、自社でプロデュースするビデオゲームソフトのプロモーション活動やゲームを発売するためのさまざまな調整業務などを行っています。近年は自社プロデュースタイトルの海外販売に向けた交渉も積極的に展開しています。東京ゲームショーでは弊社開発のゲームソフト『ブリガンダインルーナジア戦記』に対する、国内外のファンの方々の高い熱量に驚きました。さまざまな反響が得られ、ゲーム開発の励みとなりましたし、海外のパブリッシャーやメディア関係者の方々と交流を深めるよい機会ともなりました。また大勢のお客さまで混雑した際に、他部門のスタッフと協力してスムーズなブース運営を行えたことも、ハピネットグループの結束力を実感する出来事として強く印象に残っています。

これからもゲームファンに沢山の楽しみをお届けできるよう、より良いモノづくりを目指し、自社プロデュースタイトルとハピネットグループのワールドワイドでの認知向上に向けた、さまざまな取り組みを行ってまいります。



栗林 孝史

(株) ハピネット ビデオゲームユニット MD3チーム 正木 昂丞

お客さまのリアルな反応を励みに、さらなる企業認知や流通機能の向上へ

「全国エンタメまつり」では、イベント内容の立案をはじめ、物販商品の仕入、プレスリリースの作成、当日の設営・運営と一連のイベント業務に携わりました。会場は多くのお客さまで賑わっており、どんなお客さまがプレイされているのか、ゲームの面白さや難しさのポイントはどこにあるのかなど、具体的に知ることができました。普段のBtoB主体のビジネスや店頭体験会などではなかなか知りえない、お客さまのリアルな反応を肌で感じられたことは、私自身、商品販売に携わる上で貴重な体験となりました。今後も積極的なイベント出展を通じて、さらなる企業認知や流通機能の向上を図るとともに、実際の物販においてもイベント限定商品の企画など、お客さまに満足していただけるような取り組みを推進していきます。



正木 昂丞

特集 2 障がい者の特性を生かした、働きがいのある職場づくり



ハピネットは、一人ひとりの多様性を尊重し、障がいの有無にかかわらず、ハピネットグループ従業員全員が働きがいを持って共に働ける職場づくりに取り組んでいます。個々のスキルを生かした業務分担や、障がい特性の合理的配慮をしつつ、専門機関との連携体制も含めた多方面からのサポート体制が評価され、公的機関から職場見学の依頼なども寄せられています。

ゼロから試行錯誤で取り組んだ職場づくりが評価され、優良企業として表彰

ハピネットは、障がいのある従業員が、得意なスキルを最大限に生かし、やりがいを持って生き生きと働ける職場づくりに取り組んでいます。個々の適性と業務とのマッチングを的確に把握するため、多角的にチェックする体制を整備するとともに、面談や業務日誌、セルフケアを促すシートなどを活用して、一人ひとりとのコミュニケーションを図ることを心掛けています。また、業務面と労務面の双方からのサポートに加えて、就労支援事業所と連携し、サポートの強化も図っています。

障がい者と共に働く取り組みは、専門知識を持つ従業員が誰一人いない状態からのスタートでした。まずは、支援する社員が専門機関や他企業からの情報収集や知識習得に努めることから始め、次に従業員を対象に研修を実施し、障がい特性や得意なスキル、事例などを説明することで、理解促進を図っていきました。

各部門から業務を受託し遂行していく中で、その成果物が評価されていき、現在は障がい者が担う業務範囲が拡大しています。さまざまな種類の業務にチャレンジできる機会が増えたことで、個々のモチベーションも向上し、就労定着につながっています。

このような一人ひとりの特性を理解して、それらを生かすハピネットの取り組みが認められ、障がい者の雇用支援を行

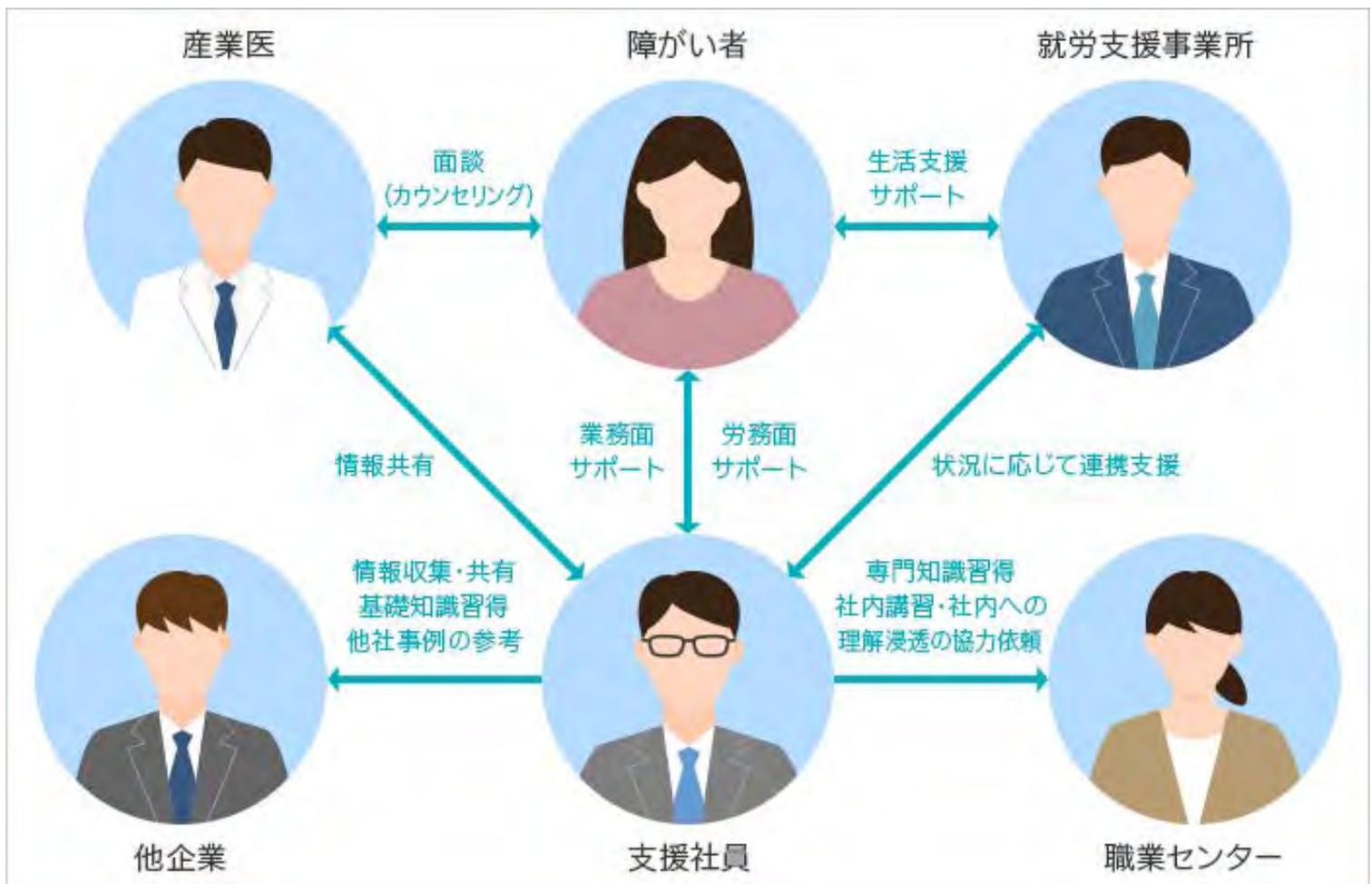
う「中央障害者雇用情報センター」から内閣人事局に紹介されるとともに、職場見学とヒアリングをしたいとの依頼を受けました。また、障害者職業総合センターより、ジョブコーチ養成研修の講師の依頼も受け、さらに就労支援事業所からは、安定就労に積極的かつ就労定着を実現している優良企業として表彰していただきました。

ハピネットは今後も、障がい特性への配慮だけでなく、成長と挑戦の機会をつくることで、働きがいのある職場づくりに努めてまいります。

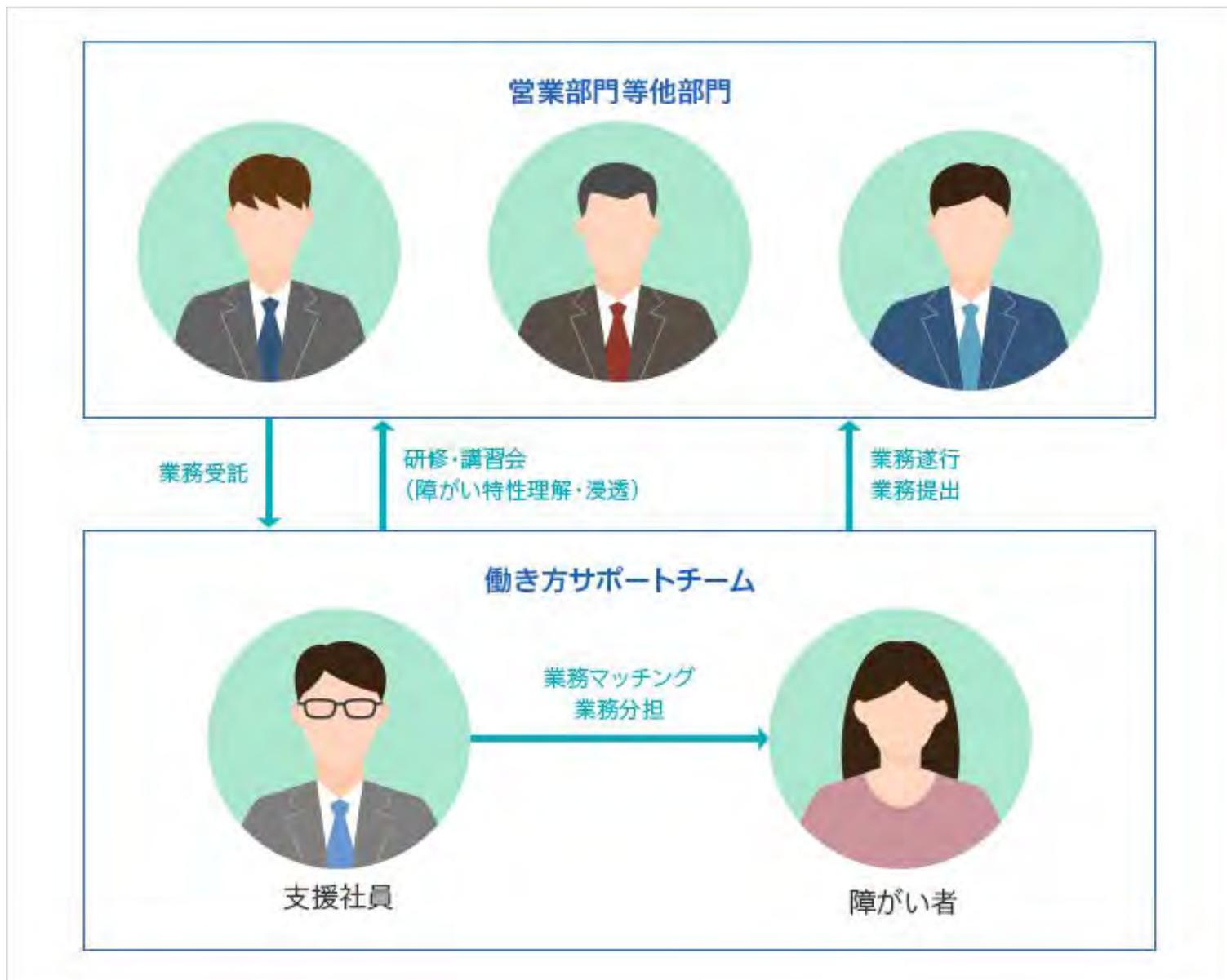


研修の様子

取組み及び連携体制



業務運用体制



担当者の声

(株)ハピネット 経営本部 コーポレート管理ユニット 人材開発部 働き方サポートチーム 坂下喜克 / 鈴木裕子

ハピネットらしいダイバーシティを！

当社は、障がい者雇用の取り組みをゼロから試行錯誤で進めてきました。専門機関からアドバイスを得たり、他社の取り組みを参考にしたりしながら、特性に合うように柔軟にアレンジしています。トライアル・アンド・エラーで一つ一つの実施と改善の繰り返し、ある意味、「手作り」感のある体制構築ですが、各々の状況や特性にマッチさせるというやり方が、当社での取り組みの良い点であり、就労定着につながっているのではないかと思います。

また、当社で取り扱うエンタテインメント系商材に興味がある障がい者の方も多く、各々の特性にマッチングした業務を遂行することによる業務効率化の発見や、モチベーションアップの傾向もみられるので、多様性を生かした働きがいのあるフィールドはまだまだあるのではないかと考えています。

今後も社内の協力を得ながら、適切なサポートを継続していきます。そして互いにコミュニケーションを図りながら、常に状況に合わせた合理的配慮を適正に行い、多様性を生かした働きがいのある職場づくりの推進に努めていきます。

特集 3 50周年記念を契機とし、会社の魅力を社内外へ発信

50th
Leap into the future
～幸せを届ける50年～



2019年に会社設立50周年を迎えたハピネットは、50周年スローガン『Leap into the future ～幸せを届ける50年～』の制定をはじめ、50周年記念サイトの作成や50周年記念ロゴデザインの社内公募や記念誌の作成など、社内外にハピネットの魅力を発信しています。

エンタテインメントを通じて「幸せを届ける」次の50年へ

ハピネットは2019年に会社設立50周年を迎えました。半世紀にわたり成長・発展を続けてきた当社のこれまでの歩みを踏まえ、従業員の「いま」を共有し、未来へ向けてさらに成長・発展への道を拓いていくことを目的に、50周年記念施策を社内外で展開しました。

そこでまず取り組んだのが、50周年スローガン『Leap into the future ～幸せを届ける50年～』の制定です。「とどまることなく未来へ向けて大きく飛躍して成長・発展する」決意とともに、エンタテインメントを通じてさまざまなステークホルダーに「幸せを届ける」50年にしていきたいという思いを込めています。

50周年の象徴となる記念ロゴデザインも社内公募で作成したほか、社外の方にも今までのご支援に対する感謝の気持ちをお伝えするとともに、ハピネットをより広く認知していただくための50周年記念サイトを立ち上げ、50年の歩みや当社が手がけたヒット商品などを紹介しました。さらに50周年記念誌を作成して、当社会長と社長の対談や若手従業員による座談会の内容、また全ての従業員の顔写真やコメントを掲載し、社員の経営に対する理解浸透や社員間コミュニケーションの活性化を図りました。

今回の施策はまた、歴史ある企業としての当社のアピールにもつながるものです。設立50周年という節目を迎えられたことに対するステークホルダーの方々への感謝を示すとともに、今回の記念施策を一過性とせず、より一層の認知度向上に向けてさらなる取り組みを進めていきます。

50周年記念サイト <https://happinet.co.jp/50th/>



50周年記念ロゴには「とどまることなく未来へ向けて大きく飛躍して成長・発展する」という決意が込められている。



会長・社長の対談や若手従業員による座談会、全従業員の顔写真やコメントを掲載した記念冊子。

担当者の声

(株)ハピネット 経営本部 経営企画ユニット 経営企画部 神山小苗 / 中山優果 / 後藤千裕

社内外の多くの人に支えられ、50周年を迎えられたことを実感

50周年記念ロゴデザインの社内公募には、パソコンで本格的に作成されたものから手書きのものまで326件の応募がありました。従業員の関心の高さに応えるように、4カ月に渡った選考も白熱し、4回の選考会をもって最終決定となりました。

昨年1年間は社内外のさまざまな場面で50周年企業であることを打ち出してきたので、企業認知も向上できたと考えています。また記念誌は今後も形に残るものであり、従業員が数年後に冊子を見返したときに、「50周年という記念すべき節目にハピネットに所属していた」ことを思い出せるものができたと思います。

記念誌の作成にあたり、ハピネットの歴史を調べたり、過去の社内広報誌を見たりするうちに、社内外問わず多くの人の支えがあって50周年を迎えられたことを改めて感じました。記念すべき年にこのような企画に携わることができたことをうれしく思います。今までの50年を支えていただいたステークホルダーの方々のため、そしてハピネットがこれからの50年も更なる成長発展を続けるためにも、今まで以上に多くの方々に貢献できる企業でありたいと思います。



写真左から、中山優果 / 神山小苗 / 後藤千裕

HUMAN REPORT 2020

ハピネス・ネットワーキングの実現へ。
私の取り組み。



ハピネットグループの社員一人ひとりが実践するそれぞれの「持ち場」での取り組みや創意工夫を報告します。



ハピネットグループでは、企業活動を通して、
「人々の心に感動を与え、夢のある明日をつくる」という思いを、
社員一人ひとりが、常に意識し、実践していくことを
CSR理念の基本的考え方としています。

～ハピネットグループ「CSR理念」より～

▶ セールス(アミューズメント)

販売実績に基づく
圧倒的な品揃えで
多様なニーズに応え、
安心・安全な店舗展開で
カプセル玩具の
魅力をアピール

㈱ハピネット・
ベンディングサービス
営業推進部
ロケーション開発チーム

藤條 大輔



▶ セールス(映像・音楽)

グッズとの連動など
ハピネットグループの
強みを生かした独自施策で
アーティストの魅力を
多角的に発信する
音楽レーベルを設立

㈱ハピネット・
メディアマーケティング
事業企画本部 音楽企画部
音楽制作チーム

田中 智弘



▶ 企画・制作 (映像・音楽)

日本のアニメ放送と
ほぼ同時の英語字幕付き
海外配信が実現
海外パイヤーとの
緊密な連携で日本アニメの
海外進出に貢献する

㈱ハピネット
ピクチャーズユニット
ライツチーム

花亀 博之



▶ スタッフ (ECサイト)

業界最大手の
中間流通企業の強みを
生かしたECサイトの運営と
きめ細かなサービスで、
お客さま・メーカーさま
双方に貢献

㈱ハピネット
オンラインユニット
EC運営チーム

横野 香織



▶ スタッフ (総務)

石灰石を原料とする
新素材「LIMEX」を
使用した名刺を導入
環境負荷低減と社内の
環境意識向上を図る

㈱ハピネット 経営本部
コーポレート管理ユニット
総務部 総務チーム

吉田 康祐



※ 社員の所属部署は2019年度時点のものです

Copyright © 2020 Happinet. All Rights Reserved.

HUMAN REPORT 2020

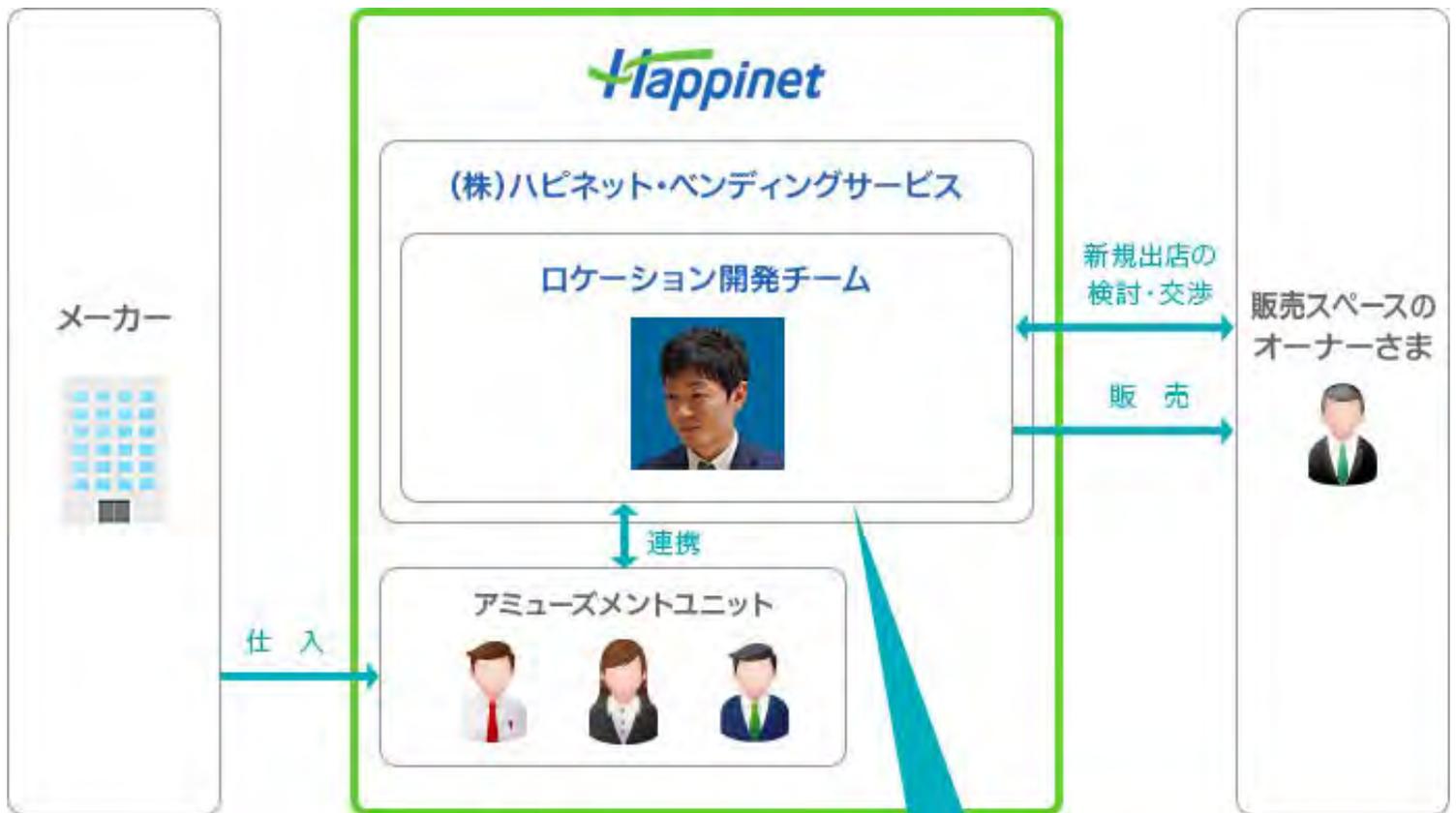
ハピネス・ネットワーキングの実現へ。
私の取り組み。



セールス（アミューズメント）

（株）ハピネット・ベンディングサービス 営業推進部 ロケーション開発チーム 藤條 大輔

販売実績に基づく圧倒的な品揃えで多様なニーズに応え、
安心・安全な店舗展開でカプセル玩具の魅力のアピール



- 新規出店に向け、お取引さまとの交渉
- 販売データに基づいたオペレーションや商品展開の実施

822面のカプセル玩具自動販売機を設置した専門店を新規オープン

「あなたのお気に入りココにある！」というコンセプトのもと、2019年12月に立ち上げたカプセル玩具のオリジナルショップ、それが「ガシャココ」です。大型店のイオンモール鶴見緑地店（大阪府）は、約50坪のスペースに822面ものカプセル玩具自動販売機を設置しています。

運営主体であるハピネット・ベンディングサービスに所属する私は、新規出店に向けてお取引先さまとの交渉を担当しており、現在は主要都市部を中心に店舗数の拡大を目指しています。大型店の出店以降、これまでカプセル玩具に馴染みのない業態のお取引先さまからも多数お問い合わせをいただき、ガシャココに大きな可能性を感じています。



ガシャココ1号店のイオンモール鶴見緑地店。822面のカプセル玩具自動販売機が並び、お客さまの多様なニーズに応える

かかわりの深いステークホルダー

- お客さま
- お取引先さま

CSRの取り組み

安心・安全な商品の提供を第一に、販売実績に基づく的確な品揃えでニーズに確実に応える



(株)ハピネット・ベンディングサービス 営業推進部
ケーション開発チーム

藤條 大輔

主なCSRの取り組み

- 顧客満足度の向上
- 安心・安全な商品の提供

ガシャココの大きな特徴は、販売データに基づいたオペレーションや商品展開を実施していることです。ガシャココ鶴見緑地店では、どのカプセル玩具自動販売機でどの商品がどれだけ売れているのかをリアルタイムに確認できるよう、全てのカプセル玩具自動販売機にPOSを設置しています。販売データを基とする詳細な売上分析を行い、商品の見直しを随時行うことによって、お客さまのニーズを的確につかみ、お客さまが求める商品を実確にお届けできるよう努めています。こうした販売実績に基づく在庫管理、効率的な店舗展開もあって、ガシャココ鶴見緑地店におけるカプセル玩具自動販売機1面の売上は、全国平均の2倍以上という高い業績をあげています。しかし、売れば何でも取り扱うわけではなく、ガシャココで取り扱う商品の安全性には細心の注意を払っています。お子さま向けの玩具は、安全規格（ST基準）を通った商品のみを取り扱い、高学年や大人向けの商品についても形状や材質をチェックするなど、安心して遊べる商品の提供を第一としています。

高い販売実績を支えに、カプセル玩具の楽しさを広めていきたい

最近のカプセル玩具はお子さまから大人まで楽しめる幅広いカテゴリーを網羅しており、クオリティも非常に高くなっています。私のお気に入りは、ダンゴムシやカメなど、リアルに可動する生き物系シリーズで、自宅にくつも飾っています。

今後は例えば人気キャラクターのガシャココ限定商品や地域限定商品といったオリジナル商品や、キャッシュレス端末の導入など、魅力ある商品展開や先進システムの活用でさらなる販売力強化を図っていきたいと考えています。そして「ガシャココに来れば自分のお気に入りがある」という認知を高め、お客さまの心をつかむとともに、カプセル玩具がより幅広い年齢層に支持され、よりたくさんのお客さまに楽しんでいただけるよう取り組んでいきます。



HUMAN REPORT 2020

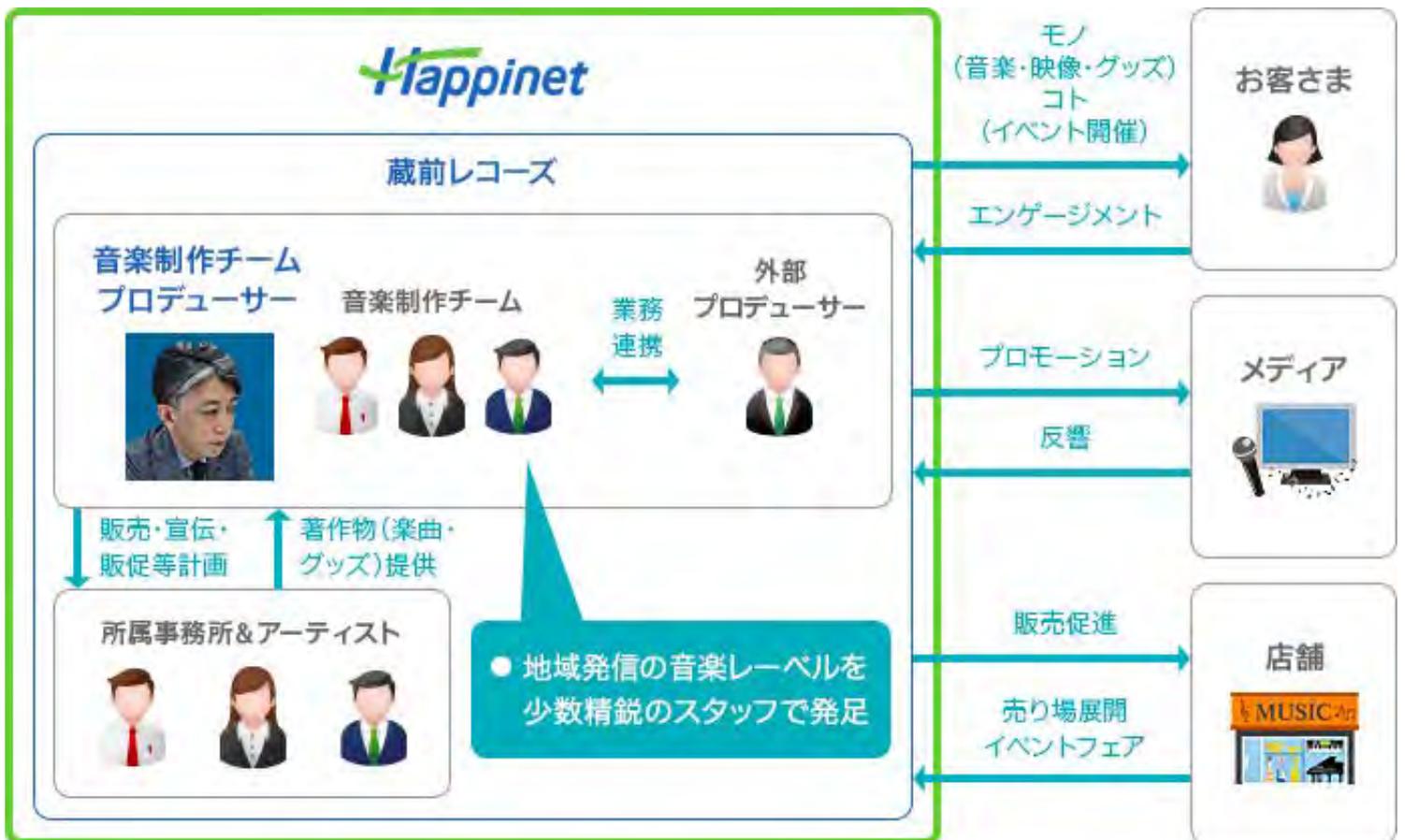
ハピネス・ネットワーキングの実現へ。
私の取り組み。



セールス（映像・音楽）

（株）ハピネット・メディアマーケティング 事業企画本部 音楽企画部 音楽制作チーム 田中 智弘

グッズとの連動などハピネットグループの強みを生かした独自施策で
アーティストの魅力が多角的に発信する音楽レーベルを設立



地域発信の音楽レーベルを少数精鋭のスタッフで発足

「蔵前レコーズ」は2019年1月に設立した音楽レーベルです。シンガーソングライター「カノエラナ」やロックバンド「This is LAST」「Muvidat (ムビダット)」などのアーティストが所属しています。

私は、アーティストが世に出す作品（コンテンツ）のコンセプト、売り出し方、宣伝手法等を決めるプロデューサーではありますが、少人数体制でスタートしたレーベルですので、役職に関係なく、店頭営業から販売促進、イベント企画、音楽配信、出版営業に至るまで、スタッフ総出で取り組んでいます。



(株) ハピネット・メディアマーケティング 事業企画
本部 音楽企画部 音楽制作チーム
田中 智弘

かかわりの深いステークホルダー

- 所属アーティスト
- お客さま

アーティストに真摯に向き合い、ハピネットグループの強みを生かした施策を展開



レーベル運営のこだわりは「アーティストに真摯に向き合うこと」。アーティストにとって私たちは、時には厳しいこともあえて言うビジネスパートナーであるべきだと考えています。そして私たちのような後発の音楽レーベルにできることは、既存レーベルにはない独自性を追求し続けることであり、アーティストの魅力を今まで以上に引き出すさまざまな企画を立案し、実行していくことだと思います。これまでに、アーティストの魅力を生かしたグッズ展開や地下街でのひととき目立つ巨大ポスターによる告知などを展開してきました。

音楽は、感動や共感を呼び、人生を豊かにするものだと思います。このような活動を通じてアーティストの楽曲をより多くの人に届け、より豊かな音楽文化の発展に貢献していきたいと思っています。

主なCSRの取り組み

- 顧客満足度の向上
- 豊かな芸術文化の発展

専門家を交えたアーティスト分析など新たな試みを実践



音楽レーベルとして所属アーティストに対する貢献は、「売れること」に尽きますが、今はかつてのような大がかりな宣伝広告で目立つ手法ではない、新たな機軸が求められる時代です。当レーベルでは専門家を交えたアーティスト分析を行い、音楽活動にフィードバックする取り組みを実践しています。アーティストが持つ力やファンとの結びつきについて繰り返し話し合ってきたことで、ファンからは「蔵前レコーズからリリースするようになってアーティストの個性が強くなった」といった声も届くなど、発足から約1年を経て、独自のレーベルカラーが表れつつある手応えを感じています。

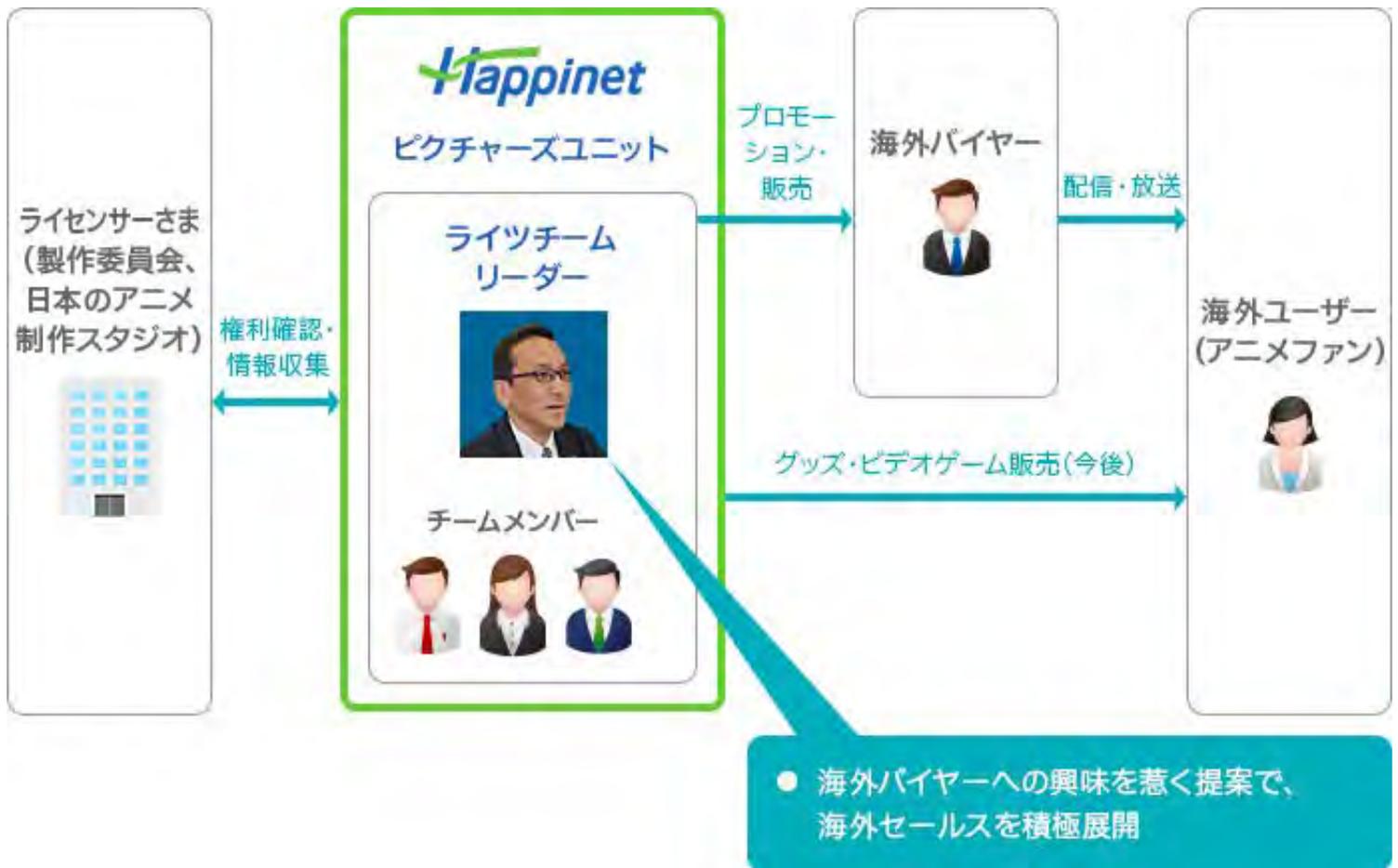
新型コロナウイルス感染症の拡大により困難な状況が続いていますが、無観客ライブやゲーム実況中継、ネットサイン会を開催するなど、今後どのような状況においてもアーティストを支援し、より良い音楽を届けていきたいと思っています。



企画・制作（映像・音楽）

（株）ハピネット ピクチャーズユニット ライツチーム 花亀 博之

日本のアニメ放送とほぼ同時の英語字幕付き海外配信が実現
海外バイヤーとの緊密な連携で日本アニメの海外進出に貢献する



海外バイヤーへの興味を惹く提案で、海外セールスを積極展開



(株)ハピネットピクチャーズユニットライツチーム
花亀 博之

かかわりの深いステークホルダー

- お取引先さま
- お客さま

ハピネットでは、日本の新作アニメの海外セールスを手がけています。新作のアニメ作品を海外の配信事業者
に、テレビ放送や劇場公開前の段階で提案し、商談がま
とまれば、日本のテレビ放送とほぼ同時のタイミングで
サイマル配信※しています。

私はチームリーダーとして、アジア地域の営業担当、北
米・欧州地域担当の営業サポート、取扱作品全体の営業
管理を行っています。海外とのビジネスではバイヤーと
の結びつきが非常に重要です。実際のアニメ作品は未完
成の段階であり、作品の概要やストーリーを記した英文
資料や英語字幕の付いた予告編映像を用意して商談に臨
みます。海外バイヤーには相当なアニメ好きの方が多い
こともあり、資料には過去の類似作品や声優などの関連
情報を盛り込み、作品に強く興味を持ってもらえるよう
努めています。海外での商談はスケジュールが過密で、3
日間で商談した企業の数に50社に及ぶことも。終了時
にはスタッフ全員声も出なくなるほど疲労困憊ですが、海
外のお取引先さまも確実に増え、とても有意義な機会と
なっています。

※サイマル配信

同じ時間帯に同じ番組を異なるチャンネル・放送方式・
放送媒体で放送すること。

グローバルな連携で、海外アニメファンのニーズに応える

良い作品をより早くお客さまに届けること、そして楽しんでもらうことが、何よりの社会貢献と考えています。現在、私たちが目指しているのは、日本のテレビ放送とほぼ同時に、英語吹替版のサイマル配信を実現することです。これにより、海外のアニメファンの満足度は大きく向上すると確信しています。現状では、日本での放送終了30分から1時間後には、海外配信プラットフォームにおいて、英語字幕付のアニメ本編の配信視聴が可能となっています。こうしたサービスの実現は、日本のアニメ制作スタジオから海外営業担当、さらに海外配信事業者への素材提供や情報連携がスムーズに行われている結果であり、多くの努力によって支えられています。

主なCSRの取り組み

- 顧客満足度の向上
- 取引先とのコミュニケーション強化



動画配信サイトの需要を追い風に、日本アニメの世界進出を追求

アニメ作品の海外セールスは今後も成長が見込めるビジネス分野です。アメリカの大手動画配信サイトでは日本アニメ作品の字幕や吹替版の配信が増えており、ライト層への浸透が進んでいます。また中国ではアニメイベントに大勢のファンが来場するなど急速に市場拡大しており、さらなる普及が期待できます。ファンイベントの開催やゲーム・グッズ販売など関連事業の裾野も広がっており、多岐にわたる商品の中間流通や自社開発を手がけてきたハピネットグループの強みを生かして、単にアニメを観るだけではない、より多彩な楽しみ方を海外のファンにも届けたいと思っています。



HUMAN REPORT 2020

ハピネス・ネットワーキングの実現へ。
私の取り組み。



スタッフ（ECサイト）

（株）ハピネット オンラインユニット EC運営チーム 横野 香織

業界最大手の中間流通企業の強みを生かしたECサイトの運営と
きめ細かなサービスで、お客さま・メーカーさま双方に貢献



- ハピネットの中間流通機能に合わせた、ECシステムやツールの企画・運用。
- 業界最大手の中間流通企業として、お客さま、メーカーさま双方のニーズをマッチング

ECサイト「ハピネット・オンライン」における、きめ細かなカスタマーサービスの提供

私は、「ハピネット・オンライン」で受ける注文やカスタマーサービスの管理を担当しています。ハピネット・オンラインは、玩具・CD/DVD・ビデオゲーム等、ハピネットグループが扱う商品を個人のお客さま向けに販売するECサイトです。直営サイトに加えて、「楽天市場」「PayPayモール（Yahoo!ショッピング）」「au Wowma!（現au PAY マーケット）」の各モールサイトでそれぞれ展開しており、取扱商品は35万点以上に及びます。

当サイトでは、お客さまのニーズを満たす品揃え、適正な在庫を用意するのはもちろん、お電話でのお問い合わせ対応やラッピングサービスなど、きめ細やかなサービスを提供できるよう日々努めています。そのために、ハピネットの中間流通機能に合わせてカスタマイズしたECシステムやツールの開発、処理作業の自動化などによる、徹底的なタスクの効率化を行っています。人の手を掛けなくてもできる処理をシステムに任せる事で、お客さま一人ひとりに丁寧に対応する時間を生み出しています。



(株)ハピネット オンラインユニット EC運営チーム
横野 香織

かかわりの深いステークホルダー

- お客さま
- メーカーさま

CSRの取り組み

いつでも、どこにいても買い物を楽しめる、ECサイトの社会的役割



主なCSRの取り組み

- ECサイトにおける顧客満足度の向上
- お取引先さまとの連携強化
- 誰もが快適に暮らせる社会の実現

店頭で取り扱いのない過去の商品をお探しのお客さまと、在庫を販売したいメーカーさま、双方のニーズをマッチングさせられるのも、業界最大手の中間流通企業として幅広い商品を取りそろえるハピネットグループの大きな強みです。

また、病気や怪我・障がいがある方や、育児で外出が難しい方などが、自宅に居ながら好きな時に買い物を楽しめる場を提供することは、ECサイトを運営する私たちが担うべき大切な社会的役割だと自負しています。

ご高齢の方の利用も増えており、ときにはお客さまが商品を購入される際にお電話でお手伝いすることもあります。以前、大きな地震が発生して、配送状況のお問い合わせをいただいた際に、「一人でとても不安な思いをしていたので、誰かと話せて安心した」とのお言葉をいただいた時には、直接、声でコミュニケーションをとることの大切さを改めて実感しました。

今後の課題

利便性や顧客満足度で高評価を獲得、受賞を励みにサービス拡充を追求

2019年、ハピネット・オンラインは、アクセス数や売上、顧客満足度や利便性の高い優秀なECサイトに与えられる賞を、3サイトで受賞しました。受賞エンブレムをサイトに飾ることは、お客さまからの信頼や評価を得ていることの何よりの証であり、運営する私たちにとっても誇らしく、大きな励みとなります。今後も引き続き、お客さまから寄せられる評価やコメントに真摯に耳を傾け、サービス向上に努めるとともに、その時代に合ったニーズにタイムリーに対応できる商品やサービスの提供を通じてさらなる満足度向上を目指します。

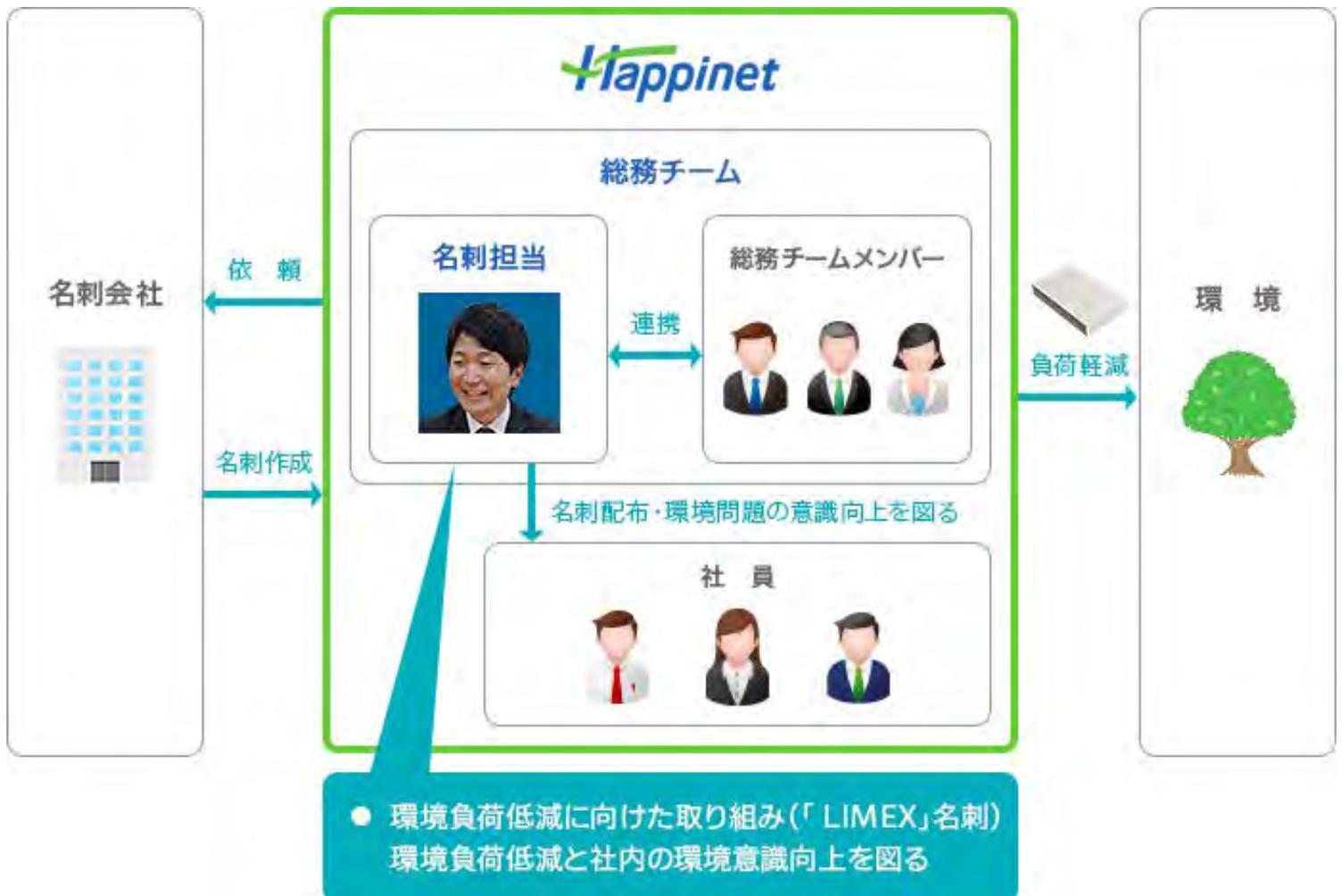




スタッフ（総務）

（株）ハピネット 経営本部 コーポレート管理ユニット 総務部 総務チーム 吉田 康祐

石灰石を原料とする新素材「LIMEX」を使用した名刺を導入 環境負荷低減と社内の環境意識向上を図る



環境負荷低減に向けた取り組みを推進

総務部では環境負荷低減の取り組みとして、これまで新聞・雑誌・封筒等の書類や、物流倉庫における段ボールのリサイクル回収などを推進してきました。また現在、ハピネットグループではお取引先さまとのFAXのやりとりが非常に多く、紙の出力枚数も膨大であることから、FAXの電子化にも取り組み始めています。さらに2019年には、紙やプラスチックの代替品を製造できるとして期待が集まる新素材「LIMEX」を使用した名刺への切り替えに取り組みました。



(株)ハピネット 経営本部 コーポレート管理ユニット 総務部 総務チーム
吉田 康祐

かかわりの深いステークホルダー

● 環境

新素材「LIMEX」を使用した名刺の導入で環境意識の啓発も



主なCSRの取り組み

- 発行資料等の素材変更による地球環境への働きかけ

LIMEXは、日本でも100%自給自足可能で、世界各地の埋蔵量も豊富な石灰石を主原料としています。水や木材を大量に節約できるとして、近年、環境保全への動きが高まるなかで注目されています。1トンの普通紙を生産するには、通常、樹木を約20本、水を約85トン利用します。一方でLIMEXは、木を利用せず、水もほとんど使わずに紙の代替製品を生産することが可能だとされています。

名刺の受発注を担当する総務部では、毎年約1,500箱（150,000枚）発注する名刺を、LIMEX製の名刺に切り替えることで、環境負荷低減を図りました。さらに、名刺の使用を通じて従業員の環境意識向上も狙っています。名刺配布の際にはLIMEXの省資源効果について説明する機会を設けました。今回の導入を契機に、社内で利用する紙やプラスチックについてもLIMEXに切り替え、さらなる省資源化や社内の環境意識の醸成につなげたいと考えています。

今後の課題

日々の業務のさまざまな場面で、LIMEX導入成果に期待

名刺にLIMEXを採用したことで、社内外でLIMEXへの関心・認知度が上がり、例えばパンフレット製作の際などにLIMEXが常に選択肢に上がるようになればと期待しています。一人でも多くの従業員が環境に意識を向けられれば、水資源や森林資源の問題、海洋プラスチックごみ問題など、地球が抱える課題への意識が高まり、地球にやさしい行動をとる人が増えるかもしれません。そうした小さな意識変化が大きな課題解決への第一歩です。今後も総務部ならではのアプローチで、ハピネットグループの環境負荷低減に貢献していきたいと思っています。



環境負荷に大きく貢献すると期待され、水にも強いLIMEX製の名刺



CSRマネジメント

ハピネットグループのCSRマネジメントを
紹介しています。



➤ CSRの考え方

- トップメッセージ
- CSR理念・CSR基本方針
- ハピネットグループのCSRとは

➤ CSR推進体制

- 推進体制
- 2020年度 CSR施策一覧
- 2019年度 CSR施策と実績

➤ コーポレート・ガバナンス

- コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方
- ガバナンス体制
- 内部統制体制の強化

➤ コンプライアンス

- コンプライアンスに関する基本的な考え方
- コンプライアンス推進体制/内部監査
- 法令遵守/コンプライアンス教育
- 内部通報制度

➤ リスクマネジメント

- リスクマネジメントに関する基本的な考え方
- 物流施設の安全性強化
- 情報セキュリティの強化

➤ ハピネットが果たす3つの責任 (E・S・G)

- 1.E (Environment) 「環境的責任」
- 2.S (Social) 「社会的責任」
- 3.G (Governance) 「法的・倫理的責任」

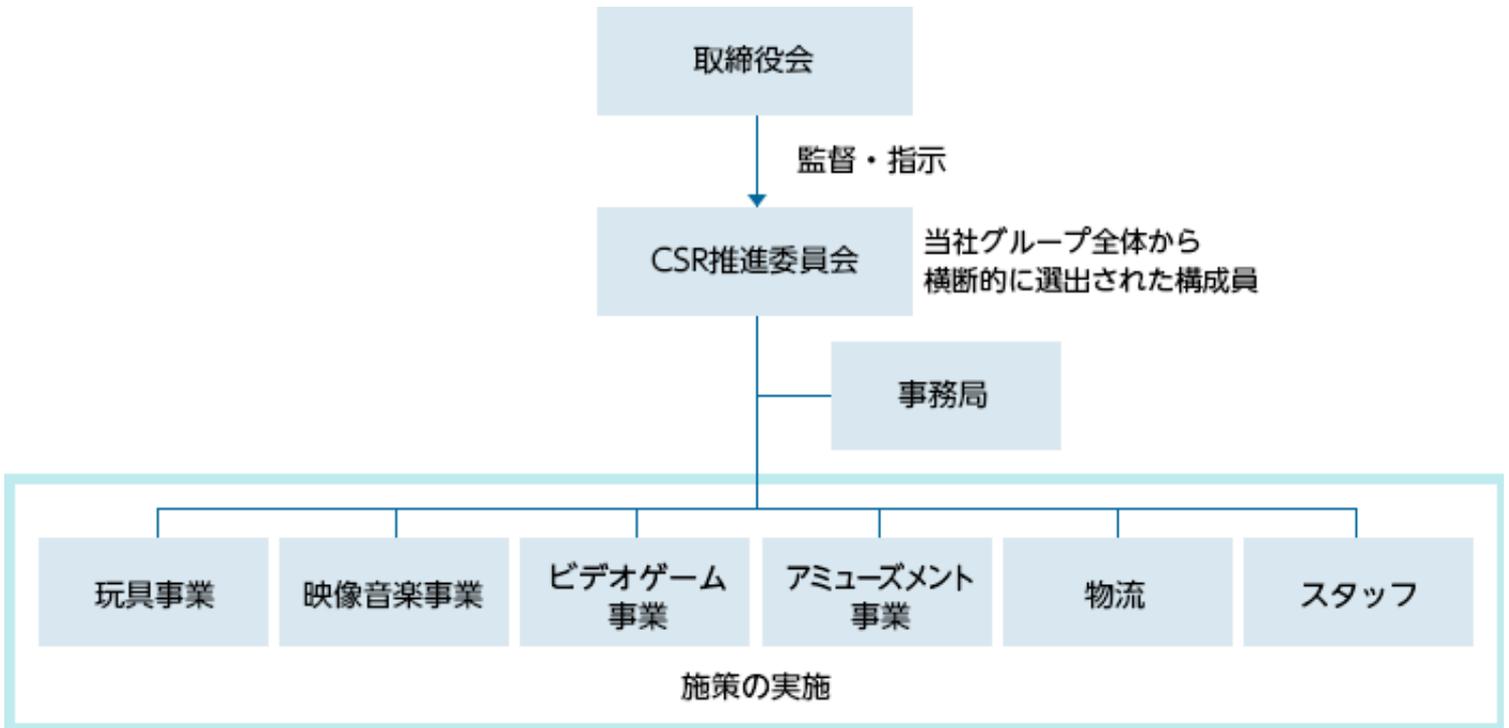


CSR推進体制

推進体制

ハピネットグループでは、2009年4月に設立した「CSR推進委員会」を中心に、年度ごとに各事業部門やグループ会社に取り組むべき課題に対して施策を策定し、実績を管理しながらCSR活動を推進しています。

推進体制



2020年度 CSR施策一覧

カテゴリ	重点施策	関連するSDGs	2020年の主な施策
マネジメント	コーポレート・ガバナンスの強化	   	取締役会の実効性評価および課題解決策の実施 次世代経営者に対する育成施策の検討・実施 社員のコンプライアンス意識の向上
	リスクマネジメントの強化	   	BCPの見直しによる、全社を横断したリスクマネジメントの強化 安定した運用保守が可能で柔軟性の高い新基幹システムの構築 海外取引に関する法的支援の体制強化
環境とのかかわり	事業活動を通じた環境への貢献	  	廃棄物削減への取り組み ペーパーレス化の更なる推進 サーバー削減による、省エネルギー化の推進
顧客とのかかわり	顧客満足の向上	   	WEBサイトやSNSなどの活用による商品PRの強化 EC事業の更なる強化 海外パートナーとの取組強化による、日本市場への販売サポート及び日本の良質なプロダクトの世界への発信サポート
社員とのかかわり	働き方改革の推進	   	ITツールの充実による持続可能なテレワークの推進 ナレッジの共有による業務の平準化、効率化 社員の健康に対する意識改善と健康増進意識の向上
	人材開発の推進	    	教育体系の抜本的な見直しによる人材育成強化
	組織の活性化	    	経営ビジョンの浸透とボトムアップ推進による組織活性化 社内コミュニケーションの活性化
社会とのかかわり	事業活動を通じた社会への貢献	   	社員の積極的なボランティア活動の支援 地域貢献活動への継続的・積極的な参画 映像作品のバリアフリー化の推進
株主とのかかわり	積極的なコミュニケーションの実施	   	情報開示（ディスクロージャー）の充実 WEBサイトやSNSを活用した企業認知向上施策の実施

2019年度 CSR施策と実績

○：目標達成 △：一部未達成 ×：未達成

カテゴリ	重点施策	関連するSDGs	2019年の主な施策	自己評価	主な取組実績
マネジメント	コーポレート・ガバナンスの強化	  	取締役会の実効性評価および課題解決策の実施	○	実効性評価と抽出された課題への解決策を実施
			資本コストを意識した経営戦略・資本戦略の推進	○	資本コストを意識した社内指標の導入、配当方針に具体的な数値目標を追加
			経営層向けトレーニングの強化	○	経営層向けのトレーニングを実施
	リスクマネジメントの強化	  	リスクマネジメント体制の見直し、再構築	△	見直しは行ったものの、再構築は次期へ持ち越し
			情報セキュリティと安定性・利便性の高さを兼ね備えたシステム環境の構築	○	新基幹システムの一部導入・稼働開始、次期も引き続き導入を行う
			事業拡大や法改正に向けた、社員の法務知識の強化	○	社員への法務研修を実施
環境とのかかわり	事業活動を通じた環境への貢献	  	廃棄物・廃棄販促物の削減	×	市場状況が厳しく、前期より増加、次期も引き続き、削減に努める
			サーバー削減による、省エネルギー化の推進	○	不要なサーバーを廃棄し、省エネルギー化を実現
			発行資料等の素材変更による地球環境への働きかけ	○	全社員の名刺を環境負荷が少ない新素材（LIMEX）に変更
顧客とのかかわり	顧客満足の上昇	  	イベント、商談会、店舗でのキャンペーンなど情報発信・売上拡大施策の実施	○	積極的なイベント参加・開催等により情報発信・売上拡大施策を強化
			店舗・消費者のニーズに合った商品開発	○	主にコンビニエンスストア向けの商品開発を強化
			ECサイトにおける顧客満足度の向上	○	顧客満足度の向上により当社が出店する3つのモールにて賞を受賞
	サプライチェーンの効率化	  	映像音楽事業の物流・システム統合による効率化の実施	○	統合により効率化を実現
			受注システムの使用による作業効率化と顧客満足度の向上	○	一部商品の受注をFAXからオンラインシステムに移行
			社員の多様化・構成変化に応じた人事諸制度の見直し	△	見直しは行ったものの、具体化は次期へ持ち越し
社員とのかかわり	多様性とワークバランスへの配慮	  	障がい者雇用の推進と社内理解・浸透の強化	○	取り組みが認められ、就労定着を実現している企業として就労支援事業所から表彰
			社員への組織満足度調査と改善策の検討・実施	○	組織満足度調査、改善策の立案・実施、効果測定のPDCAサイクルを確立
			社内コミュニケーションの活性化	○	設立50周年記念を契機に、社員への情報発信強化や社内イベントを実施
			業務の効率化による負荷・残業時間の削減と有給休暇取得の推進	○	WEB会議の活用による移動負荷の軽減、重複業務の集約等による効率化を実現
	人材開発の推進	  	社員の自主学習支援制度の充実	△	管理職に向けた研修を実施、全社員向けの自主学習支援制度は次期へ持ち越し
			若手社員の積極的な起用	○	ボトムアップ推進に向けた部門横断のプロジェクトを立ち上げ
労働安全衛生への配慮	  	労働安全衛生、働きやすい執務環境への配慮の強化	○	地方拠点の事務所について、整備を実施	

カテゴリ	重点施策	関連するSDGs	2019年の主な施策	自己評価	主な取組実績
社会とのかかわり	事業活動を通じた社会への貢献	  	社員の健康増進意識の向上	○	社内イントラでの情報発信を実施
		  	地域への貢献活動への参加とコミュニケーションの活性化	○	地域活動に継続的に参加
			映像作品のバリアフリー化の推進	○	聴覚や視覚に障がいがある方にも映像作品を楽しんでもらえるよう、DVD・Blu-rayにおけるバリアフリー化を継続的に実施
株主とのかかわり	積極的なコミュニケーションの実施	  	社員の株式価値への意識向上推進	△	意識向上施策の実施は次期へ持ち越し
			オリジナル商品のPRを通じた企業認知強化	○	積極的な商品PRを実施

Copyright © 2020 Happinet. All Rights Reserved.



コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

ハピネットは、企業価値の最大化と経営の健全性確保が、最も重要な経営課題であると考えています。その実現のために、経営の透明性を高め、経営環境の変化に対して、迅速かつ的確に対応できる体制の確立に努めています。

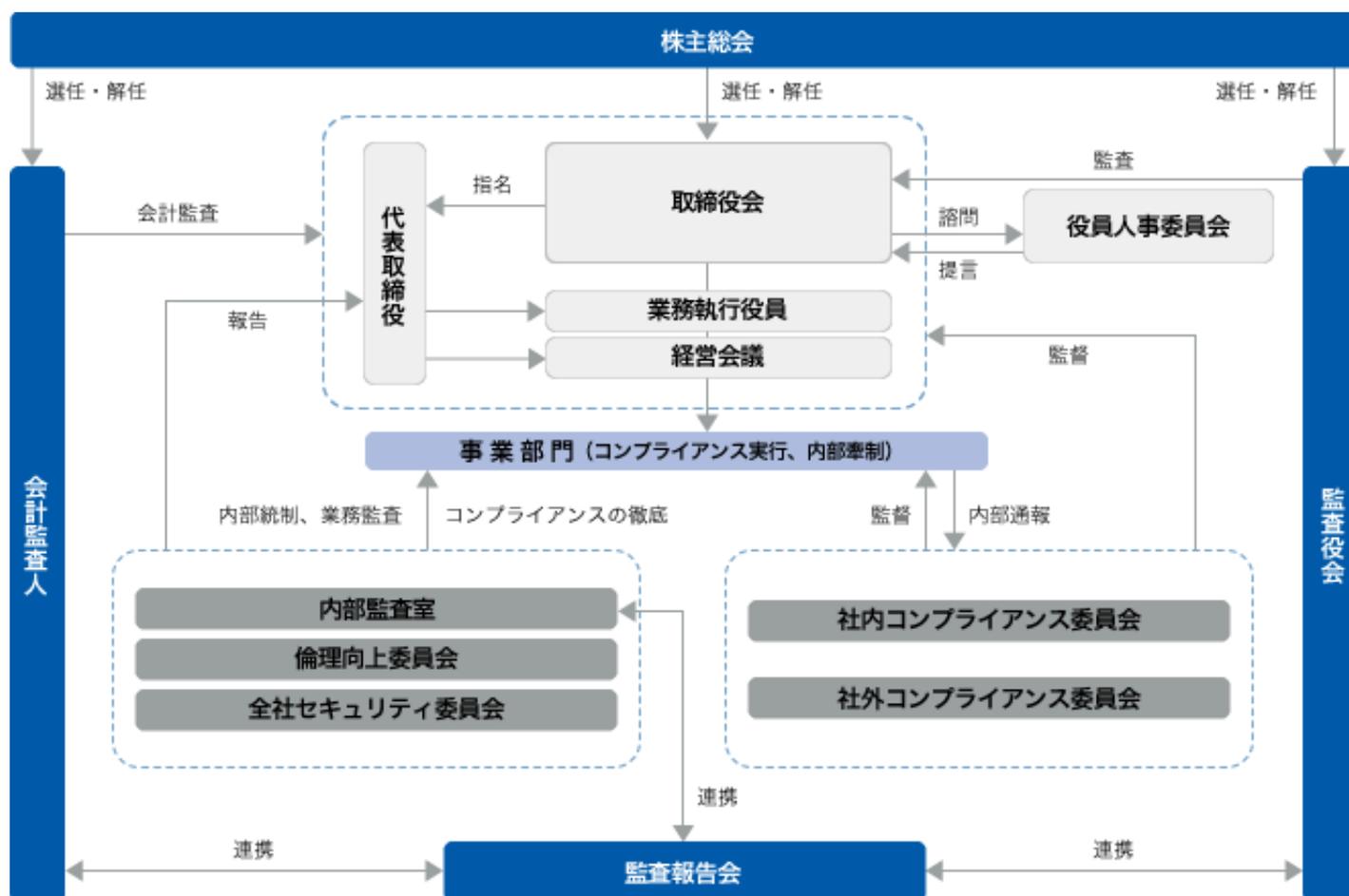
また、株主の信頼と期待を得られるよう積極的に情報を開示するとともに、顧客、社員、社会などと良好な関係を築き、長期・安定的な株主価値の向上を図っています。

ガバナンス体制

ハピネットは、下図に示すようにコーポレート・ガバナンス体制を構築しており、その特長は以下の点です。

- 取締役会による経営方針および業務執行の意思決定と、監査役制度による監査機能をコーポレート・ガバナンス体制の柱としています。また、執行役員制度を導入し、経営と執行を分離することで監督体制を強化するとともに、経営スピードの向上を図っています。
- 執行役員制度の運用や社外取締役、監査役の充実などによってコーポレート・ガバナンスのさらなる強化が可能であるとの考えから、監査役制度を採用しています。
- 任意の委員会として、役員人事委員会を設け、社外取締役が参画しています。
- 必要に応じて顧問弁護士からアドバイスを得る仕組みを整えています。

ガバナンス体制図



内部統制体制の強化

ハピネットグループは、内部統制体制を強化していくために、2006年5月に「内部統制基本方針」を定め、2015年5月に一部改定しました。

内部統制基本方針では、役員及び社員の職務執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制や役員の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する体制などの方針を明記し、ハピネットグループの業務の適正を確保するための体制を整えています。

また、内部監査室が中心となり、金融商品取引法で定められた内部統制報告制度の対応や内部統制の整備・運用状況について評価を行うなど、日々、内部統制体制の強化を図っています。

Copyright © 2020 Happinet. All Rights Reserved.



コンプライアンス

コンプライアンスに関する基本的な考え方

ハピネットグループは、法令の目的と精神を理解して行動しています。

また、法律やルールを遵守しているかどうか、常に自らチェックする意識を持って行動し、仮に、法令違反やその可能性が認められた場合には、組織的に対応し、可能な限り初期段階で是正することとしています。

コンプライアンス推進体制/内部監査

ハピネットグループは、各事業部門が公正な事業活動を行っているかをチェックし、同時にコンプライアンスの実効性を高めるために、社長直轄の「内部監査室」を設置しています。

内部監査室では、内部監査計画に基づき、監査役と連携を図りながら、効率的かつ効果的に業務全般について内部監査を実施しています。

法令遵守/コンプライアンス教育

ハピネットグループでは、コンプライアンスの実効性を高める目的で「ハピネットグループ・コンプライアンス・プログラム」を制定しています。

社内または社外のコンプライアンス委員会に報告があった場合は、このプログラムに従って違法性の有無を調査します。万が一違反が認められた場合は、処分・回復に関する措置と予防策・再発防止策を迅速に決定・実行することとしています。

また、グループビジョンを実現するために「倫理綱領」を制定しています。社会的な規範と社会との共生に軸を置いた内容で、ハピネットグループのビジネスにおける規範とするものです。この「倫理綱領」は事業環境、事業内容の変化に適応したものとなるよう、時流にあっているか等、「倫理向上委員会」を設置して定期的に見直しをおこなっています。

コンプライアンスの徹底にあたっては、啓蒙活動を継続的に実施しています。新入社員および中途社員の入社研修時についても、倫理綱領などについ



ハピネットグループ倫理綱領冊子

での研修機会を設けています。また、社内イントラネットに掲載し、理解と浸透を図っています。

内部通報制度

ハピネットグループは、「ハピネットグループ・コンプライアンス・プログラム」の規定に基づき、社内と社外に「コンプライアンス委員会」を設置しています。社内の委員会は代表取締役、その他指名者で、また社外の委員会は社外取締役で構成されています。

コンプライアンス対応を必要とする事項が発生した際は、通常の業務報告経路とは別に、社員が社内外のコンプライアンス委員会に匿名で内部通報が可能な情報伝達の経路を設けています。なお、この制度を利用して報告・相談した社員は、調査の結果、コンプライアンス上の問題の有無に関わらず、会社における身分および処遇において不利益を受けることはありません。

Copyright © 2020 Happinet. All Rights Reserved.



リスクマネジメント

リスクマネジメントに関する基本的な考え方

ハピネットグループは、地震などの大規模災害や情報漏えい、感染症、システムダウンなど、事業にマイナスの影響を及ぼすリスクの発生を未然防止し、また顕在化した際に迅速に対応できるよう、各種規程やBCP（事業継続計画）に基づくマニュアルを整備し、社員への啓蒙活動を実施しています。

また、急を要する内容のリスク、上司に相談しづらい内容のリスクについては、社員が直接経営トップに報告できる「リスクホットライン」を設置しています。通常のレポートラインに加え報告ラインを複線化することで、より迅速な対応が可能な体制を整備しています。

物流施設の安全性強化

中間流通業であるハピネットグループが、大規模災害時においても、その社会的役割を果たし続けていくためには、物流機能の継続性をいかに確保するかが重要な課題です。そのためには、アルバイトや派遣社員の方々を含め、物流施設を支えるすべての社員に安全・安心な職場環境を提供するだけでなく、災害発生に備えた安否確認や連絡方法などの体制を整備することが必要となります。

ハピネットグループの物流部門では、安全な職場環境づくりや、緊急連絡体制の見直し、避難訓練の実施、マニュアルの整備などに常時取り組んでいます。

情報セキュリティの強化

ハピネットグループは、情報セキュリティの強化を経営における重要テーマの一つに位置付けています。「経営上機密性の高い情報」「お取引先さま固有の情報」「一般消費者の個人情報」の保護・漏えい防止、また、玩具や映像・音楽ソフト、ゲームソフトなどを取り扱うグループ事業の特性を踏まえ、インターネットなどを介して得た外部著作物に対する権利侵害の防止にも注力しています。

これらの取り組みを徹底するために、パソコンやネットワーク、サーバを利用する際の具体的なルールについて規定した「情報システムセキュリティポリシー」を定めています。この「情報システムセキュリティポリシー」には、特段の必要性が無い場合はパソコンを持ち帰らない、移動中の車内にパソコンや資料を放置しないなど、社員に日常の行動に潜むリスクを意識させる項目も盛り込んでいます。

また、パソコンやサーバなどの情報機器を外部の攻撃から守り、情報の漏えいを防止するために、メール受信やデータダウンロード時のウイルスチェック、SPAMフィルタ、不正アクセス対策、モバイルパソコンに保存したデータ暗号化など、さまざまな対策を講じています。近年はクライアントソフトの脆弱性を突いた攻撃やウイルスを使った遠隔操作などの事故が数多く発生していることから、その対策にも注力しています。

自然災害によるデータの紛失・損壊の防止については、可用性の高いクラウドサービスを利用することによりリスクを軽減しています。またホストサーバの二重化やデータのバックアップ対策なども実施しています。

2018年に導入した倉庫管理用のシステム(WMS)は、大規模災害を想定しデータセンターを東京と岐阜の2カ所構成としており、大きな災害が発生した場合でも稼働を止めない工夫をしています。

今後は、遠隔地データセンターへのリロケーションやクラウド環境への移行を推進し、大規模災害発生時においても円滑な事業継続が可能な環境を整備していきます。

Copyright © 2020 Happinet. All Rights Reserved.



環境とのかかわり

ハピネットグループの環境保全活動を
紹介しています。

環境マネジメント

CO₂排出量削減の取り組み



適正な需要予測と在庫管理の推進



3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進



環境マネジメント

CO₂排出量削減の取り組み

ハピネットグループでは、事業を通じたCO₂排出量削減の取り組みを継続的に進めています。オフィスでの電力消費量削減や物流段階でのリサイクルを推進するとともに、営業・仕入れ・物流の連携を一層強化することで、効率的な商品配送を行い、CO₂排出量削減に努めています。

適正な需要予測と在庫管理の推進

ハピネットグループは、「玩具事業」「映像音楽事業」「ビデオゲーム事業」「アミューズメント事業」という4つの領域にわたって事業展開し、それぞれの事業分野で、適正な在庫管理による廃棄物削減に取り組んでいます。

今後もメーカーさまと販売店さまをつなぐハピネットグループがこれまで培ってきたマーケティング機能をさらに強化することで市場動向やニーズの的確な把握に努め、各事業において精度の高い需要予測を行い、流通在庫の適正化を推進していきます。

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

物流部門では、お取引先さまへの納品時に使用する梱包資材の資源使用量削減と有効活用をめざし、継続的な改善・改良を進めています。

段ボールの使用を最小限に抑えるため、折りたたみコンテナによる納品の推進、また、商品特性や数量に応じた最適な梱包ができるよう豊富なサイズの段ボールを取り揃えるとともに、出荷される商品の傾向に合わせ、形状やサイズの見直しを継続的に行うなど、無駄な梱包資材の使用を防ぐための活動を行っています。また、再利用できない段ボールなどについてはリサイクルを進めています。

リサイクルが難しかった細かな紙類やビニール類についても分別を徹底してリサイクル業者に引き渡すことで、一般廃棄物排出量の削減にも努めています。

また、カプセル玩具の廃棄については、廃棄物の約半分をサーマルリサイクル（熱回収）することを体系化しており、焼却灰についても鉄材料として再利用しています。



物流での分別の様子



顧客とのかかわり

ハピネットグループの顧客への取り組みを紹介しています。



製品責任への取り組み

品質保証推進体制



オリジナル玩具製品への取り組み



仕入れ玩具製品への取り組み



青少年への倫理活動



CS（顧客満足）の向上

サプライチェーン全体の効率化・生産性向上のため

公正な取引



物流での品質向上の取り組み



製品責任への取り組み

品質保証推進体制

ハピネットグループは、品質保証部門を設置して、製造を担う各事業部門のものづくりを支援しています。

品質保証部門は品質保証に関わるリスクマネジメント体制の構築・強化に取り組み、「ハピネット品質基準」の原案作成や、各事業部門の製品開発体制の構築支援、製品企画から出荷まで各段階での品質検査を担当しています。また、行政および玩具等の関連業界の動向を収集しグループ内に周知しています。

この品質保証部門と、各事業部門の品質に関わる責任者が主体となって「品質保証推進委員会」を定期的で開催しています。この委員会では、品質関連法令改正に対応する体制の検討、製品事故・失敗事例などの情報共有、改定されるハピネット品質基準の確認などを行っています。

オリジナル玩具製品への取り組み

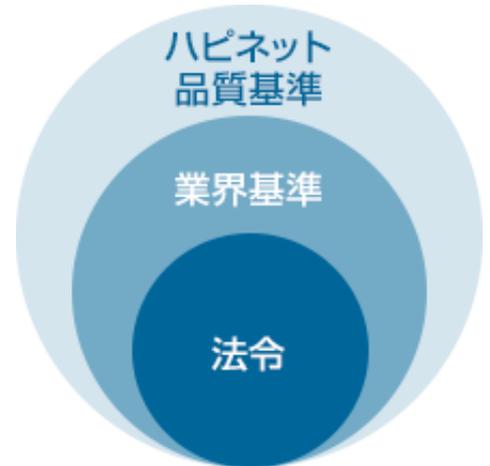
ハピネットグループは、玩具オリジナル製品の開発において、より安全な製品をつくるための「ハピネット品質基準」を設けています。

ハピネット品質基準は、ハピネットグループが発売する各製品に関わる食品衛生法などの法令や、一般社団法人日本玩具協会が定める玩具安全基準（ST基準）に対応して制定された自主基準です。法令や業界基準動向だけでなく、お客さま相談窓口およびお取引先さまからいただいたご意見・ご要望、製品事故事例などを踏まえて、改定を行っています。さらに、生産委託事業者に向けて、ハピネット品質基準の最新版を確認できる「ハピネット品質保証Webサイト」を開設しています。このWebサイトを新規取引開始時や各種基準などの改定時に生産委託事業者へ周知することで、ハピネットグループの品質基準や品質保証体系などについて、さらなる理解度向上と浸透を図っています。

生産委託事業者は、工場から製品を出荷する際に、ハピネット品質基準に基づいた検査を実施することで、安全性の確保に努めています。

検査は初回生産時のみならず、リピート生産時においても発注ロットごとに第三者認証検査機関で実施し、安全性を確認した上で出荷しています。

ハピネット品質基準



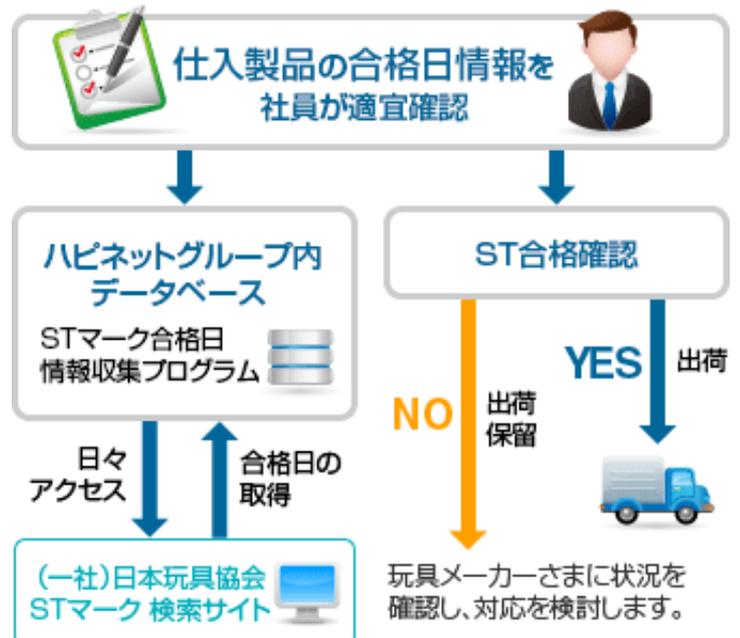
ハピネット品質保証Webサイト

仕入れ玩具製品への取り組み

ハピネットグループは、取り扱う玩具商品が玩具業界の安全基準であるST基準を満たしていることを確認するために、商品情報とST検査合格日を照合するシステムを構築しております。

これによって玩具事業の各部門が事前にメーカーさまから仕入れ予定商品の情報を入手し、発売前にその商品のST合格情報を照合。ST基準合格が未確認の商品を流通させない体制を確立しています。

ST確認スキーム

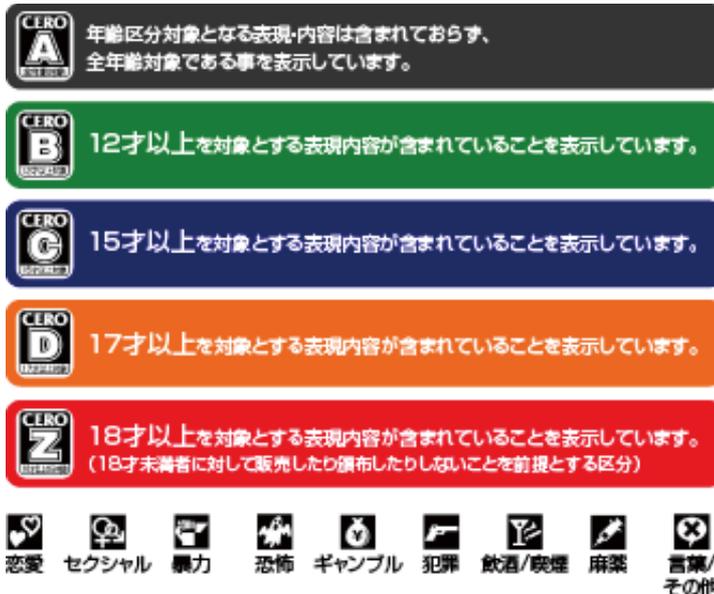


青少年への倫理活動

家庭用ゲーム機の技術進歩やゲームユーザーの年齢層の拡大によって、ゲームソフトは内容・表現ともに多様化しています。それに伴い、社会からの要請も増えています。その代表的なものとして、内容・表現が青少年に与える影響に配慮することなどが挙げられます。

これらの社会的要請に応えるために、ハピネットは2002年6月に発足した「コンピュータエンターテインメントレーティング機構」（略称CERO）の正会員として、年齢区分マークやコンテンツアイコンなどをパッケージに表示し、ゲームソフトの選択に必要な情報を提供するなど、青少年の健全な育成と社会の倫理水準の維持に努めています。

CEROの年齢区分マークとコンテンツアイコン



CERO A
年齢区分対象となる表現・内容は含まれておらず、全年齢対象である事を表示しています。

CERO B
12才以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。

CERO C
15才以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。

CERO D
17才以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。

CERO Z
18才以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。
(18才未満者に対して販売したり頒布したりしないことを前提とする区分)

恋愛 セクシャル 暴力 恐怖 ギャンブル 犯罪 飲酒/喫煙 麻薬 言葉/その他

CS（顧客満足）の向上

サプライチェーン全体の効率化・生産性向上のために

ハピネットグループは、多くのお取引先さまとともに業務の効率化・高度化を推進していく考えで、EDI（Electronic Data Interchange：電子データ交換）化など、お取引先さまの計画に合わせて迅速に対応できる体制を整えています。

また、ハピネットグループは、中間流通業および製造業という2つの業態を併せ持つことから、そのお取引先はメーカーさま、販売店さま、部材調達先、製造委託工場など多岐にわたります。そこで、製品安全に関するガイドラインとして、製造商品に対するものだけでなく、仕入商品に対するものも設け、2つの業態において各お取引先さまとの情報連携、必要となる取引手順を定め、安全な商品をお客さまにお届けできるように取り組んでおります。

公正な取引

企業が営む事業は、お取引先さま、消費者さま、社員、株主さまなど多様なステークホルダーに、さまざまな面で支援・協力を受けて成り立っています。公正な事業を遂行していくには、法令やルールを遵守することはもとより、事業に伴う行為が社会から支持され、信頼されることが重要です。そして、社会からの信頼感の醸成が、長期的な成長・発展につながります。

こうした認識のもと、ハピネットグループは、社会的信頼を一層高めるために何が公正で正当かを常に考え、自らの行動を律していきます。

また、お客さまに安心していただける製品を提供していくために、ハピネットグループは、主要な海外生産委託先工場の労働環境に関して、第三者機関によるCoC（行動規範）監査を実施しています。

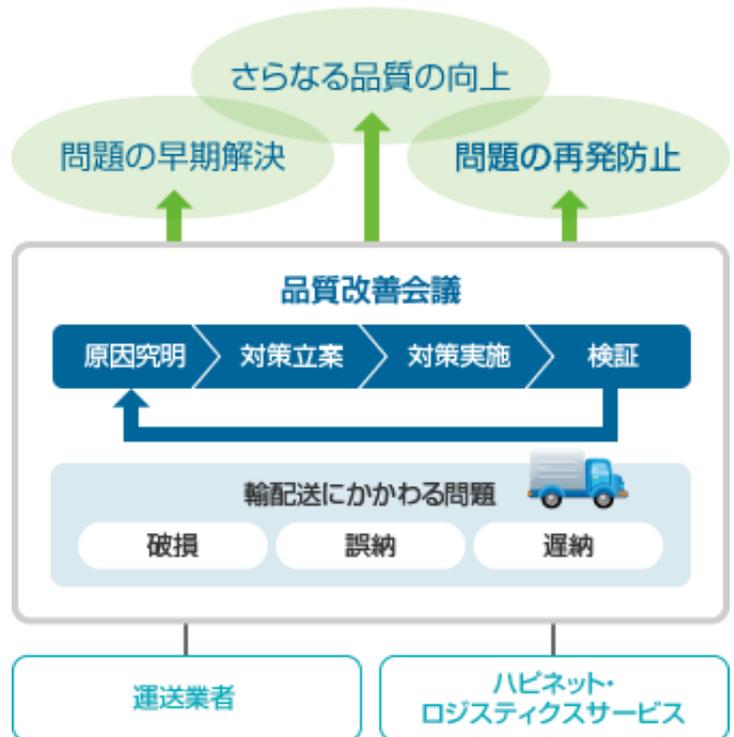
監査内容は、工場の施設や設備に関するハード面および就業規則や健康管理に関するソフト面の両面にわたります。また、強制労働や児童労働、賃金未払いといった問題について、生産国における労働法などの法令に基づく監査も行っています。

物流での品質向上の取り組み

物流部門では、品質向上をめざして、納品数の過不足や破損などの品質トラブルを集計し、毎月開催する「品質向上委員会」で品質向上策を討議・立案しています。同委員会では、物流品質を管理するための指標を明確にし、全社共通の指標として定義し、設定した目標値を達成できなかった場合には、特に詳細の原因調査をし、対策を検討、実施するスキームを運用しています。

また、運送業者との「品質改善会議」を2010年から継続的に開催しています。この会議には、ハピネットグループの物流担当者と業務委託先の運送事業者が参加し、輸配送時に発生した破損や誤配送に対する改善策や、お客さまからの要望に対する対応を共同で検討しています。

運送業者との品質改善会議





社員とのかかわり

ハピネットグループの社員への取り組みを紹介しています。



多様性を活かした取り組み

人事憲章と支援体制



障がい者雇用



女性活躍推進への取り組み



人材開発

人事制度



教育研修の実施



労働安全衛生への配慮

推進体制図



社員の健康サポート



多様性を活かした取り組み

人事憲章と支援体制

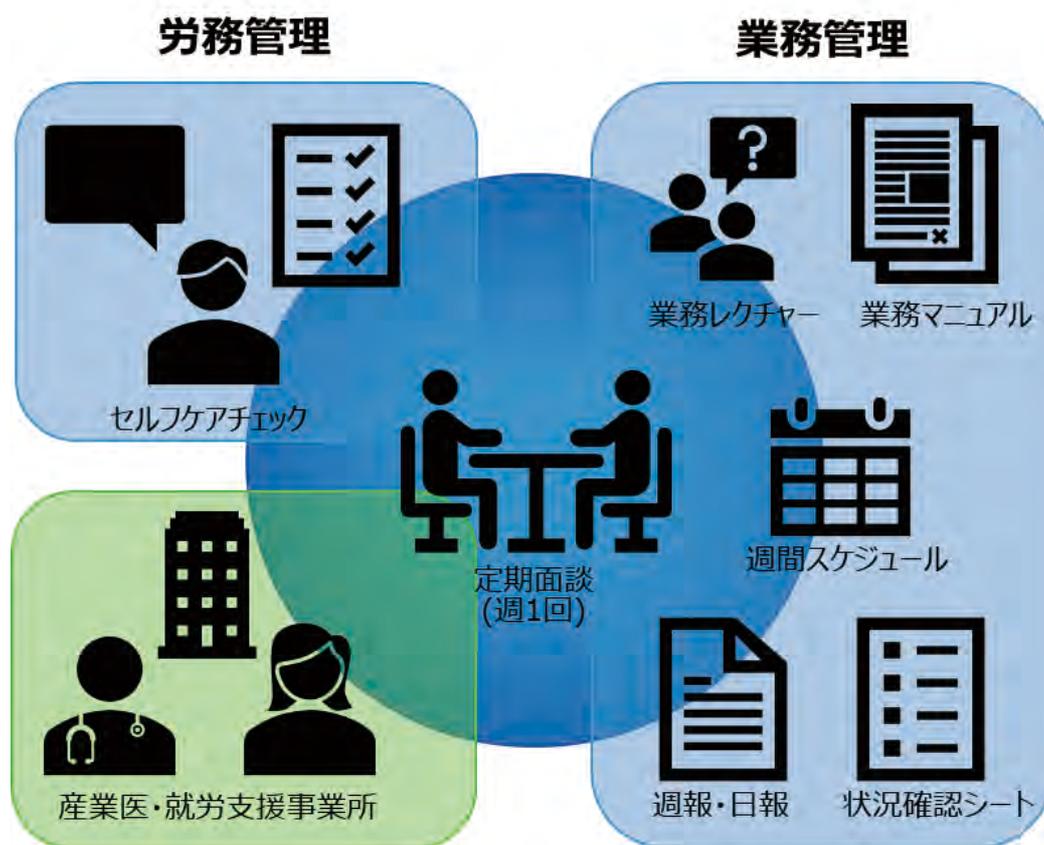
ハピネットグループが今後も成長・発展を遂げていくためには、一人ひとりの社員の成長・発展が不可欠であり、最も重要な経営課題として人材育成を位置付け、「人」に対する根本理念や経営における「人」の位置付けとあり方について「人事憲章」を制定しています。「人事憲章」には、社員が自らの夢と幸福な未来の実現のために仕事をするを真に望み、その実現のためにハピネットグループは最大限に支援することを記し、入社研修時に説明機会を設けて周知しています。

また入社後は、会社生活を送る上での「健康教育」、休業・休職からの円滑な「復帰支援」、社員自らのストレス度を把握する「ストレスチェック」、組織の課題を把握し改善に取り組む「組織診断」などのさまざまな施策を展開し、生き生きと安心して働ける職場づくりに取り組んでいます。

障がい者雇用

ハピネットグループでは、法定雇用率を充足するためではなく、多様な人材の雇用が事業に貢献する事を目指し、継続的に取組みを行っています。

「一人ひとりを尊重し、成長と挑戦の機会をつくり働きがいのある環境を育てる」という経営姿勢に基づき、障がい者雇用においても多様な価値観を認め、一人ひとりの『障がい特性』を理解・尊重し、合理的配慮のもとで得意なスキルを最大限に生かす事ができる業務分担を行っています。また、各業務と個々の適正とのマッチング確認、面談やセルフチェックを定期的に行うことにより、各々のモチベーション向上・維持に努め、安定就労・定着化へ繋がる体制構築を図っています。



社内においては障がい者の特性理解や合理的配慮が行なえるよう、専門機関と連携し、課題改善のための社内講習などを実施することで、より良い環境づくりに努めています。



女性活躍推進への取り組み

ハピネットグループは、全ての社員がその能力を十分に発揮できるように職場環境の整備を行うとともに、女性社員が活躍できる職場環境を実現するため、[「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画」](#) (PDF 67KB/2ページ) を策定しています。

人材開発

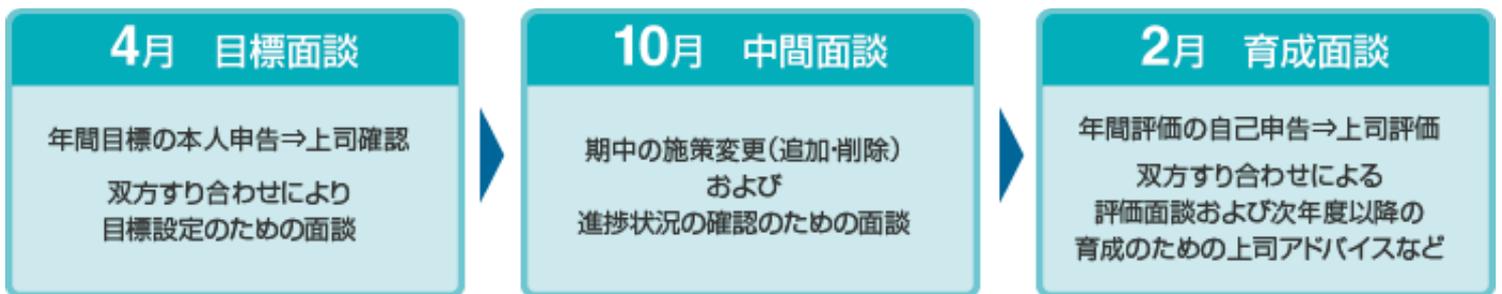
人事制度

ハピネットグループでは、時価主義・成果主義に基づいて、社員の変動する価値・成果に対応する「人材時価（価値）制度」を導入しています。これは事業における業績や個人の成果を、より明確に反映するための制度で、管理職には「年俸制」を導入しています。

一方、社員の多様なキャリアビジョンを支援するため、非管理職層を対象に「社内公募制度」を導入しています。希望の部門・職務がある場合、上司を通さず、人事担当部門に直接申し込むことができます。また、入社5年目未満の育成層には「ジョブローテーション」を導入し、計画的な早期育成を図っています。

さらに、年3回、上司と部下が面談する「目標管理制度」、年1回、本人と上司、同僚、部下による「多面評価」を実施し、職務遂行やキャリアプランの実現を支援しています。

目標完遂シート：目標管理制度



教育研修の実施

ハピネットグループは、社員が積極的に能力向上に取り組み、会社はその能力を最大限に発揮できる機会と場を提供することを「人事憲章」に明記しています。

この方針のもと、各年齢層向けキャリア研修など、社員の多様なキャリア形成をサポートするほか、育成層に向けた集中的な基礎教育、新入社員のOJT担当者向けトレーナー研修、主として管理職層に向けたリーダー研修、販売士検定の受検、各種通信講座の受講など、社員の自己啓発や能力向上を図りながら、経営における最重要課題として人材育成に取り組んでいます。



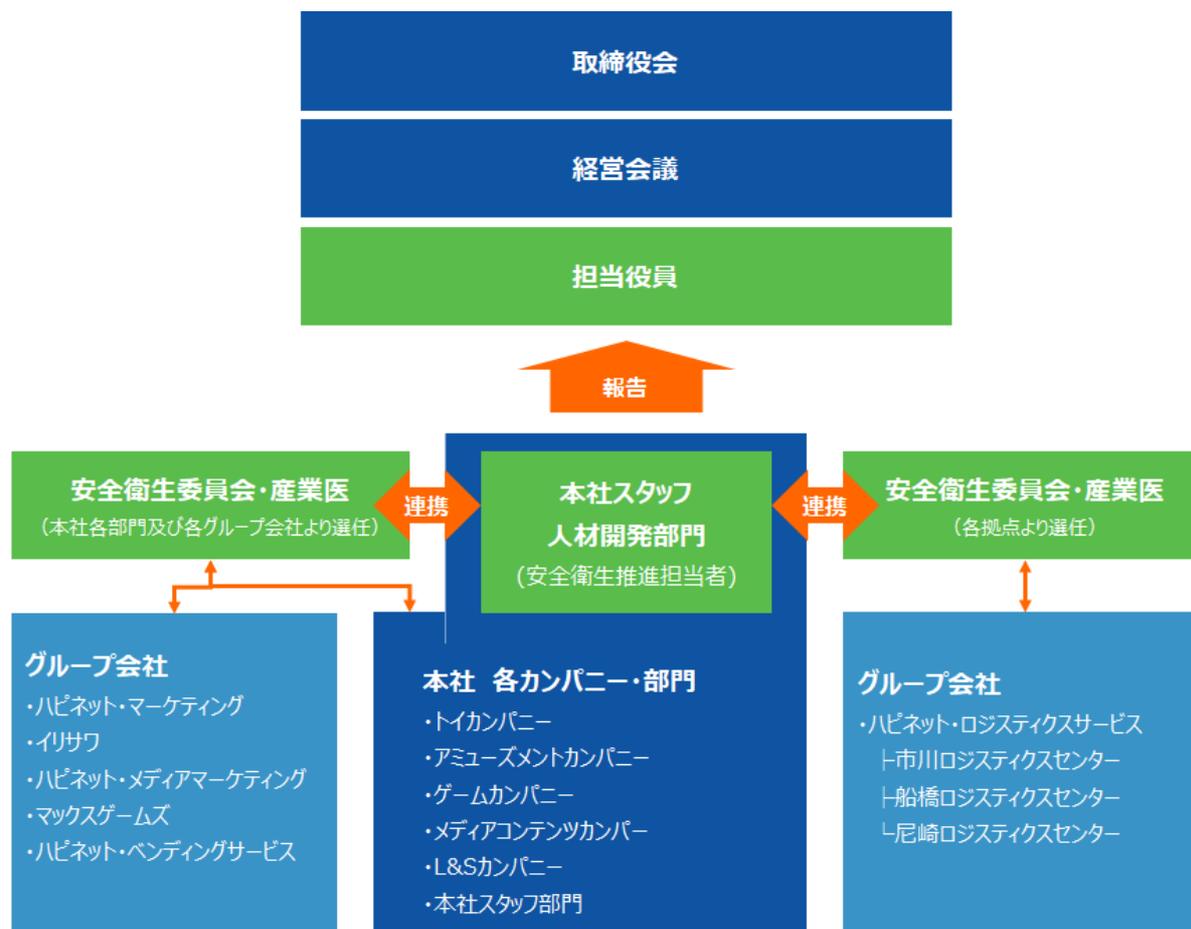
リーダー研修

労働安全衛生への配慮

ハピネットグループでは、社員が仕事を通して充実した社会生活を送るために、より生き生きと働ける職場づくりをめざしています。その主な活動として「社員の健康サポート」「安心して働ける職場環境づくり」を掲げており、充実した職業生活を総合的に支援しています。

推進体制図

本社各部署や各グループ会社と連携を図り、人材開発部門でグループ全体の健康と安全・衛生を推進しています。



社員の健康サポート

ハピネットグループでは、社員の病気の予防と早期発見・早期治療を重視し、各種相談体制の確立、ヘルスケアサービスの提供、過重労働による健康障がい防止対策の実施、自己管理意識の醸成など、社員の健康の保持増進を図るために様々な取り組みを行っています。

トータルヘルス相談の導入

2011年度から独自の「トータルヘルス相談」を実施しています。医療機関による健康診断に加えて、独自に作成した「トータルヘルス相談問診票」の提出を受け、より踏み込んだ健康相談や指導が受けられる制度で、病気の予防や早期発見、適切な措置・対処をめざしています。

回収した問診票は、回答内容に応じて適切な産業保健スタッフを選定し、産業医や保健師からアプローチする健康相談や指導も行っています。

提出日: 2019年 月 日

【 2018年度 ハピネットグループ トータルヘルス相談問診票 】

トータルヘルス相談問診票は、生活習慣や心身の健康に関心をもち、健康増進への意欲を高め積極的に対応していただくためのものです。この問診票で自分の日常生活や健康状態をチェックしてみてください。
なお、回答された内容については、産業保健スタッフから見ることができませんのでご注意ください。

◆生活習慣等について各質問にお答えください

【ここ1ヶ月間の健康について】
健康増進と関係時間
平均健康時間はどれくらいですか
寝つきがよくない
熟睡できない
動機がない
朝の起床で体が覚めて、そのあと眠れなくて辛い
顔がすっきり起きられない
睡眠で疲労が十分とれていないと感じる
仕事で強い疲労におそわれることがある

【飲食について】
食事回数
朝食を抜くことが週3回以上ある
食料残が多い
野菜が少ない
お酒を飲む
お酒を飲む頻度は
1日あたりの飲酒量は
(例: 缶ビール(330ml)を2本とグラスワイン(1杯)など)

【喫煙について】
たばこを吸っている
吸っている場合は1日の喫煙量

【休日について】
休日は
どのように過ごすことが多いですか

【運動について】
定期的な運動習慣がない(1週間に1回以上、かつ1回あたり30分以上)
(1回15分)具体的に実施している運動はありますか
(例: 週1回スポーツジムに通っている、週2回は1時間のウォーキング)

【現在1人暮らしをしていますか】

【通勤時間】※家を出てから会社に到着までの時間
1分/分

【上記の生活習慣全体について】
運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか
既に改善に取り組んでいる
改善するつもりですが具体的な改善方法がわからない

◆ワークライフバランスについて各質問にお答えください

【現在育児や介護をしていますか】
※介護について「現在していない」にチェックした方
今後5年以内に介護をする可能性はありますか

【上記の状態で、現在育児や介護をしている方にチェックした方】
仕事と両立する上で何か困っていることはありますか

◆ここ2ヶ月の状態で、日常生活や仕事に支障をきたすような次の症状がありますか

1. 記憶や理解、感情のいずれかがある
2. 胃の具合が悪い(胃痛、胃もたれ、胸焼け、吐酸など)
3. 下痢や便秘を繰り返す
4. 頭痛や頭重さのいずれかがある
5. 肩こり、背中、腕、膝のいずれかがある
6. 耳鳴り、めまい、立ちくらみのいずれかがある
7. 手足のしびれがある
8. 食味がなく体重が減ってきた
9. 過食気味である
10. 気がほろついている
11. 不安定
12. 落ちつかない
13. 物事に集中できない
14. 気がたんだり気がおちくることがある
15. 眠をするにもおっくうだ
16. これまで楽しんでやれた趣味や活動が楽しくない
17. ちょっとしたことでも腹が立ったりイライラする
18. いつもだるい
19. ひどく鬱れている
20. その他(何か気になる症状があれば)

【実施者記入欄】 調査実施日 年 月 日 (産業医・保健師・看護師・産業カウンセラー(職士))

写真：トータルヘルス相談問診票

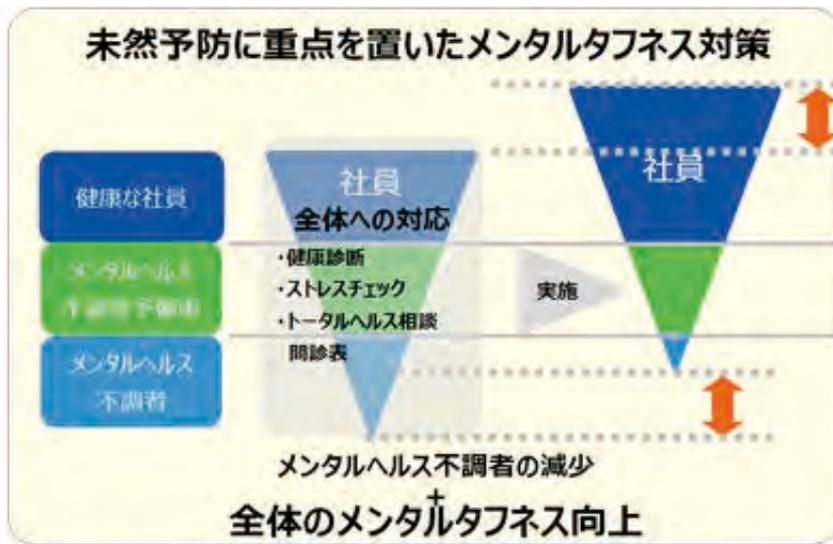
健康診断の取り組み

健康診断は会社の安全配慮義務履行のためだけでなく、社員が自らの健康状態を振り返り、その年に必要な検査項目を受診してもらえよう、法定の健康診断項目以外にも、自由に選択できるオプション検査の受診を会社が補助することで積極的に勧めています。また産業医が要2次検査と判断した社員に対しては、受診確認を徹底しており、健康診断受診後のフォローでは、産業医、保健師、社内の産業保健スタッフ間で連携し、社員の健康保持をサポートしています。

メンタルヘルスの取り組み

ハピネットグループでは、社内に専門の相談窓口を設置して、産業医や保健師、看護師、臨床心理士、産業カウンセラー、衛生管理者など社内外の産業保健スタッフが相談に応じる体制を整えています。社員が心の不調を感じた場合はもちろん、年1回、全社員を対象に「ストレスチェック」を実施し、予防策の指導やアドバイスを行うことで、不調を感じる社員以外にも予防策を講じる取り組みも行っています。

ハピネットグループでは、ストレスチェックとあわせ、前述のトータルヘルス相談問診票および健康診断の結果と3方向から社員の健康をサポートしています。



健康についての情報発信や補助

ハピネットグループでは、社内に向けて以下のような健康についての情報発信や補助を行っています。特に社内で実施する健康教育と、健康保険組合と連携した取り組みについては、近年積極的に進めており、研修の企画、社内イントラでの掲示やメールを使った啓蒙、説明会の実施など、一人でも多くの社員に参加してもらえるよう促しています。

主な項目	健康補助	健康教育	健保組合連携
健康診断の案内・促進、オプション料金補助	●		●
インフルエンザ予防接種の受診案内、費用補助	●		●
健康増進に向けた社内研修の案内・促進	●	●	
新入社員、新任リーダーへの心身の健康管理教育		●	
禁煙コンテスト			●
ウォークラリー			●
健保組合主催セミナーの案内促進			●
家庭常備薬の案内・補助	●		●

社内イントラネット等を使い、積極的に情報を発信



写真：禁煙コンテストのポスターを喫煙室へ掲示



写真：産業医によるセミナー



写真：健康増進に向けた社内研修を実施(体成分測定会でのストレッチ講座)



写真：健康増進に向けた社内研修を実施(体成分測定会での結果フィードバックの様子)

残業時間/休日出勤の削減

社員の健康の保持増進を図り、労働災害を未然に防止することを目的に、残業に関するルールを徹底しています。適正な就業環境で業務を遂行することを、社員全員の共通認識とするため、残業申請と上司による承認がない限り19時30分自動消灯を推進しています。

効果検証

実施している取り組みの結果把握や効果検証を継続的に行い、取り組みの見直しを図っていくことで、社内の健康課題の解決や健康の保持増進につなげています。今後も、社員がより生き生きと働けるための環境づくりを推進していきます。

効果検証指標

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
健康診断受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ストレスチェック受検率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
トータルヘルス相談 問診票提出率	53.2%	76.1%	87.0%	80.3%
喫煙率	—	31.5%	30.3%	28.9%
運動習慣比率 (※1)	—	—	58.0%	36.7%
有所見率 (※2)	53.5%	55.5%	52.5%	53.2%

対象：正社員

※1 週1回以上運動習慣のある場合

※2 健康診断の判定で、経過観察、要治療、要精密検査、治療中の場合



社会とのかかわり

ハピネットグループの地域社会への取り組みを紹介しています。

社会貢献

玩具を通じて子ども達に笑顔を



東京マラソンでのボランティア参加



独自の地域清掃活動の実施



社会貢献

玩具を通じて子ども達に笑顔を

ハピネットグループは、震災等による被災地の一日も早い復興を願っています。

被災地の子ども達にクリスマス・年末を笑顔でむかえられるようにクリスマスプレゼントを贈る「おもちゃの国のサンタ」プロジェクト（主催：一般社団法人こども・笑顔創出プロジェクト）に賛同し協賛しました。

また、障がいの有無に関わらず、隔たりのない（バリアフリーの）世の中を目指し、おもちゃ&スポーツ&音楽を通して、様々な子どもたちがつながる機会をつくるためにスタートしたプロジェクト「バリアフリーおもちゃ博in旭川」（主催：バリアフリーおもちゃ博 in 旭川 実行委員会）の趣旨に賛同し協賛しました。

東京マラソンでのボランティア参加

世界有数規模のランナーが参加して開催される東京マラソン。浅草消防署からの要請を受け、当社社員が救護所ボランティアに参加しています。

その背景として、当社社員の「普通救命講習」の受講率が高く、また意識も浸透していることがあげられると考えています。

「普通救命講習」とは、消防署で開催される講習会であり応急手当の普及を目的に、ハピネットグループの社員は、2007年から積極的に受講しています。

心停止の可能性がある方を発見した場合、1分1秒でも早い心肺蘇生の実施とAEDを用いた電気ショックが大切な命を救うことへと繋がるためです。

独自の地域清掃活動の実施

ハピネットグループの物流部門では、2012年度から社員が事業所周辺の歩道を清掃する活動に取り組みました。これまでも地域組合が実施する清掃活動に参加していたものの、清掃日を過ぎるとゴミが目立つようになるため、地域美化に貢献すべく独自で実施したものです。

最寄り駅から各拠点までの歩道清掃を中心に取り組み、多くのゴミが回収されました。

清掃活動をする社員の姿を通して、ゴミの投げ捨てがなくなることを願い、今後も継続して実施する計画です。



地域清掃活動の様子



株主とのかかわり

ハピネットグループの株主・投資家への取り組みを紹介しています。



株主還元

配当

株主優待

株主・投資家とのコミュニケーション

株主・投資家の皆さまとの積極的な対話

情報開示（ディスクロージャー）の充実

株主還元

配当

当社は、各事業年度の利益状況と将来の事業展開を総合的かつ中長期的に考慮し、新規事業展開のための業務提携や開発投資など、将来性と収益性の高い分野への積極投資を行ってより強固な経営基盤を確立するための内部留保を図っていくとともに、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要指標の一つと位置づけ適正な配当を行っていくことを、基本方針としております。

具体的には、安定的な配当額として1株当たり年間50円を維持するとともに、連結配当性向40%を目標として株主還元を実施してまいります。

株主優待

個人投資家の皆さまに、よりご満足いただき、長期的に株式を保有いただきたいとの考えから、株主優待制度の充実を図っています。株主優待品としては、2009年3月期からカタログギフトを採用し、当社オリジナルあるいは独占販売する玩具や映像作品ソフト等のなかからお好みの商品を選択いただける形式としています。

また2017年3月期より、株主優待制度のより一層の充実を図るため、500株以上保有の株主さまを対象に、保有株式数に応じて「こども商品券」を贈呈しております。



株主・投資家とのコミュニケーション

株主・投資家の皆さまとの積極的な対話

ハピネットはより多くの皆さまに当社を知っていただくとともに、企業理解を深めていただくべく、個人投資家説明会や、国内・海外の機関投資家、アナリストの皆さまとのミーティングを積極的に行っています。

今後も様々な活動を通じ、株主・投資家の皆さまとの対話に取り組んでまいります。



写真：個人投資家説明会の様子

情報開示（ディスクロージャー）の充実

ハピネットでは、株主・投資家の皆さまへ向けたIR資料や、情報発信ツールであるホームページの充実に取り組んでいます。

「わかりやすく、使いやすい」サイトをコンセプトとしたホームページでは、「株主・投資家の皆さまへ」と題したIRサイトを設け、経営情報、IRニュース、IRデータなどを充実させています。

2018年10月にはIRサイトをリニューアルし、より目的の資料を探しやすい構造にするとともに、「早分かりハピネット」と題し、当社の強みをまとめたコンテンツを新たに設けています。

今後も、タイムリーで適正なIR情報の発信に努めていきます。



写真：IRサイト

環境データ集

事業活動による環境影響に関するデータを掲載しています。

事業活動による環境影響



※ガソリン・軽油については、当社から委託を受けた運送業者車両の使用量も含まれます。



※ 集計対象範囲は、ハピネットグループ全拠点ではありません。

※ CO₂排出量は、2015年度までは外部の廃棄物処理業者への委託分を含んでおりましたが、2016年度より対象外といたしました。